

走行するとき

3

●メーター・表示灯・警告灯の見かた	98
メーター	98
表示灯	119
警告灯	123
インテリジェントキー機能の警報について	137
警報装置	141
●スイッチの使いかた	143
ライトスイッチ	143
方向指示器スイッチ	147
非常点滅表示灯スイッチ	147
ワイパー・ウオッシャースイッチ	148
リヤデフォグガースイッチ	151
ホーンスイッチ	152
●運転のしかた	153
ハイブリッドシステムの始動のしかた	153
パーキングブレーキ	158
セレクトレバーの使いかた	159
オートマチック車の運転のしかた	164
ドライブモードセレクター	168
VDC (ビークルダイナミクスコントロール)	172
アクティブスタビリティアシスト	174
回生協調ブレーキ	175
ヒルスタートアシスト	176
車両接近通報装置 (VSPシステム)	176
LDP (車線逸脱防止支援システム)	178
LDW (車線逸脱警報)	183
クルーズコントロール	187
インテリジェントクルーズコントロール	191
FCW (前方車両接近警報)	218
インテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト)	222
ECOペダル	239
ブレーキアシスト (プレビュー機能付)	241
インテリジェントブレーキアシスト	243
ABS	247

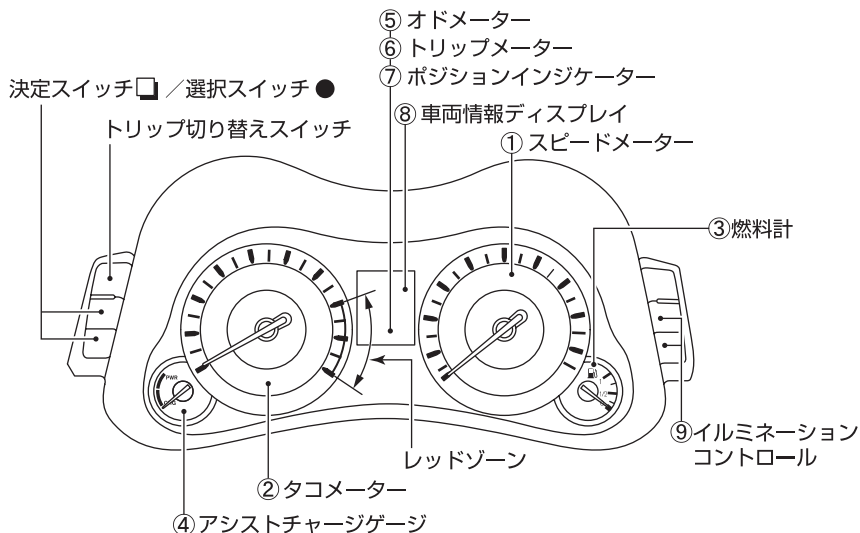
メーター・表示灯・警告灯の見かた

メーター

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。

知識

- メーター演出がONのときは、ハイブリッドシステムを始動させると指針がスイープ動作（スピードメーター及びタコメーターの指針が一度最大値付近を指し戻る）します。
- ◐メーター演出（ドライブコンピューター）…P.107
- 電源ポジションをOFFにしてからしばらくして指針が振れることがありますが故障ではありません。



①スピードメーター（速度計）

走行速度を表示します。

②タコメーター（エンジン回転計）

1分間あたりのエンジン回転数を表示します。

 **注意**

- レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。

③燃料計

燃料の残量を表示します。

- 燃料タンクの容量は約70ℓです。

 **知識**

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、表示が振れることがあります。

④アシストチャージゲージ

モーターの状態を表示します。

- 針が目盛りの中心からPWR側にあるときはモーターが駆動している状態であることを示しています。
- 針が目盛りの中心からCHG側にあるときはモーターが発電している状態であることを示しています。

⑤オドメーター（積算距離計）

総走行距離をkmで車両情報ディスプレイに表示します。



ZPA0519

⑥トリップメーター（区間距離計）

ⒶとⒷで2種類の区間走行距離をkmで車両情報ディスプレイに表示します。



ZPA0475

※イラストは、Ⓐの表示です。

- トリップ切り替えスイッチを押すごとにⒶとⒷが切り替わります。
- リセットするときは0にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。

 **知識**

- 12Vバッテリーを外したときは、ⒶとⒷの記憶が消去され0に戻ります。

⑦ポジションインジケーター

セレクトレバーのセット位置を車両情報ディスプレイに表示します。



↑ ポジションインジケーター

ESG0224Z

⑧ 車両情報ディスプレイ

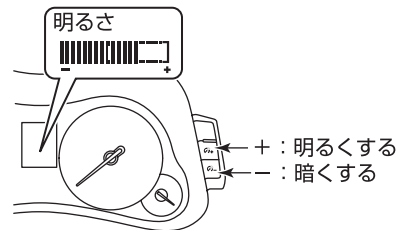
以下の情報を表示することができます。

- オドメーター…○P.99
- トリップメーター…○P.99
- ポジションインジケータ…○P.99
- イルミネーションコントロールレベル表示…○P.100
- ドライブコンピューター…○P.101
- インテリジェントキー表示・警告…○P.115
- ドライブモードセクター…○P.168
- クルーズコントロール★…○P.187
- インテリジェントクルーズコントロール★…○P.191
- FCW（前方車両接近警報）★…○P.218
- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）★…○P.222

⑨ イルミネーションコントロール

電源ポジションがONのとき、車外の明るさに応じてメーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、車両情報ディスプレイに表示されます。



ZPA0878

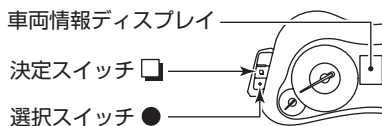
 知識
<ul style="list-style-type: none"> ● 12Vバッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

ドライブコンピューター

車両情報ディスプレイに表示されます。

■切り替えかた

- 決定スイッチ□を押すごとに表示が切り替わります。



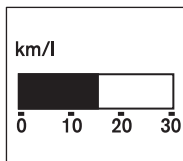
ZPA0477

■表示について

知識

- 表示される数値は、走行状況などにより実際の数値と異なる場合があります。
- ハイブリッドシステムが停止しているときや、インテリジェントキー表示・警告やインテリジェントクルーズコントロール*などの表示をしているときは、表示が一部異なります。

①瞬間燃費



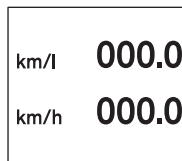
ZPA0788

- 走行を開始してからの瞬間燃費を表示します。

知識

- ナビゲーションシステムの画面(別冊)の瞬間燃費とは連動していません。

②平均燃費、平均車速



ZPA0815

- リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費、平均車速を表示します。
- リセットするときは、選択スイッチ●を約1秒以上押します。(平均燃費と平均車速を同時にリセットします。)

知識

- 12Vバッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。
- 数値は約30秒ごとに更新します。
- ナビゲーションシステムの画面(別冊)の平均燃費とは連動していません。

③ 走行時間、走行距離



ZPA0816

- リセットしてから次にリセットするまでの走行時間、走行距離を表示します。
- リセットするときは、選択スイッチ●を約1秒以上押します。(走行時間、走行距離を同時にリセットします。)

④ 航続可能距離



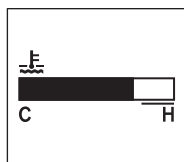
ZPA0817

- 現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。
- 燃料残量警告 (P.109) が表示されると、航続可能距離の距離表示が点滅します。
- 燃料残量警告表示後も燃料を補給しないと「----」と表示します。

知識

- 数値は約30秒ごとに算出しています。
- ナビゲーションシステムの画面 (別冊) の航続可能距離と連動しています。

⑤ 水温計



ZPA0780

- エンジン冷却水の温度を表示します。オーバーヒート範囲は、Hマーク上部の横線です。

警告

- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

オーバーヒートしたときは…P.317

⑥ 外気温



ZPA0818

- 外気温を表示します。

知識

- 次の場合には、正しく外気温が表示されないことがあります。
 - ・ 外気温が-30℃以下、又は60℃以上のとき。
 - ・ 停車又は低速走行 (約20km/h以下) しているとき。
- 外気温が3℃以下になると「ICY」と表示します。

⑦設定



ZPA0819

- アラーム、メンテナンス、メーター演出を設定することができます。

 知識

- 以下の場合は、設定することができません。
 - ・走行しているとき。
 - ・インテリジェントキー表示・警告を表示しているとき。
 - ・イルミネーションコントロールレベルを操作しているとき
 - ・インテリジェントクルーズコントロール*の表示をしているとき。

アラーム

走行時間、凍結注意の表示を設定できます。

- 走行時間
 - ・設定した時間まで連続走行したことを知らせます。



ESH0073Z

- 凍結注意
 - ・外気温が3℃以下になったことを知らせます。



ESH0074Z

目次

警告

走行する前に

走行するだけ

室内装備の
使いかたつ車とあの上か
手な

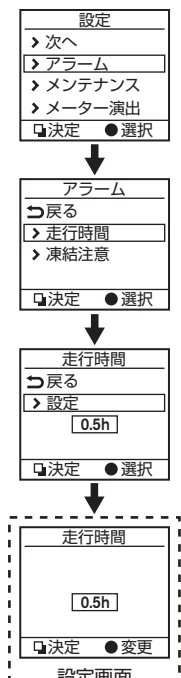
万のとき

サービスデータ

さくいん

設定のしかた

- 選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ□で決定して各設定画面にします。



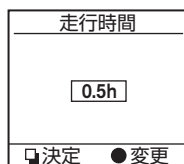
ZPA0479

例：走行時間の設定の場合

知識

- 設定の最初の画面に戻るときは、決定スイッチ□を約1秒以上押します。

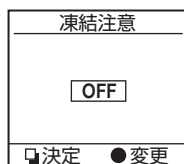
〈走行時間の設定〉



ZPA0480

- 最大6時間まで設定できます。
- 走行時間の設定画面で選択スイッチ●を押して時間を切り替えます。
短く押す：
 0.5h (30分) 単位で切り替わる
長く (約1秒以上) 押す：
 1.0h (60分) 単位で切り替わる
- 設定しないときは、「-」にします。

〈凍結注意表示の設定〉



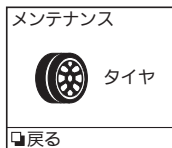
ZPA0481

- 凍結注意の設定画面で選択スイッチ●を押してON/OFFを切り替えます。
 ON：アラーム設定
 OFF：アラーム解除

メンテナンス

各種交換時期の設定ができます。

- 設定した距離を超えると、以下の表示で知らせます。

タイヤ

ESH0076Z

オイルフィルタ

ESH0077Z

オイル

ESH0075Z

その他の部品

ESH0078Z

知識

- 走行距離を元にお知らせしているもので、実際の車両状態を示したものではありません。目安としてお使いください。
- 「その他」には、お好みの部品の交換時期を設定してください。

目次

警告

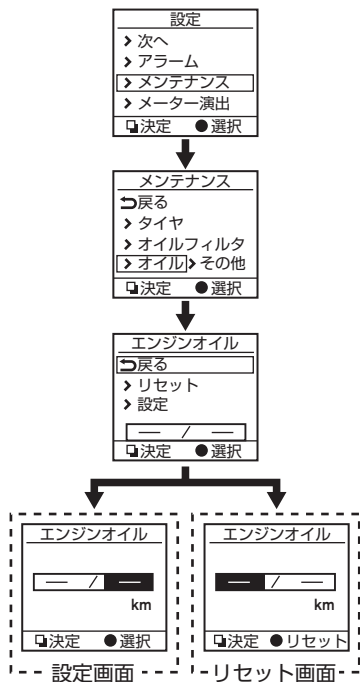
走行する前に

走行するより

室内装備の
使いかたつ車
きあの上
が手な万
一のと
ときサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

設定のしかた

- 選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ□で決定して各設定画面、リセット画面にします。



ZPA0482

例：エンジンオイルの設定の場合

知識

- 設定の最初の画面に戻るときは、決定スイッチ□を約1秒以上押します。

〈距離の設定〉

- 最大30,000kmまで設定できます。
- 各設定画面で選択スイッチ●を押して距離を切り替えます。

短く押す：

500km単位で切り替わる

長く（約1秒以上）押す：

1,000km単位で切り替わる

- 設定しないときは、「—」にします。

〈距離のリセット〉

- 走行した距離をリセットできます。
- リセット画面で選択スイッチ●を押して決定スイッチ□で決定します。

知識

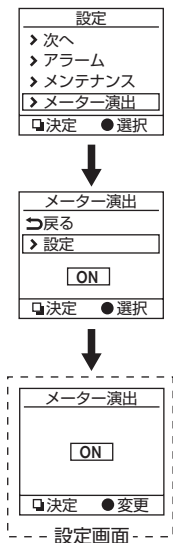
- リセット後にもう一度選択スイッチ●を押すと、積算距離が元に戻ります。

メーター演出

ハイブリッドシステムを始動させたとき、指針がスイープ動作（スピードメーター及びタコメーターの指針が一度最大値付近を指し戻る）するかしないかを設定することができます。

設定のしかた

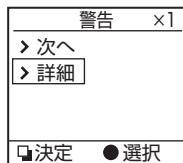
- 選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ□で決定して各設定画面にします。



ZPA0483

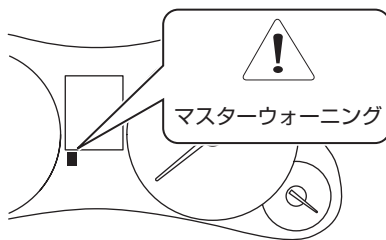
- メーター演出の設定画面で選択スイッチ●を押して切り替えます。
ON :メーター演出あり
OFF :メーター演出なし

⑧警告



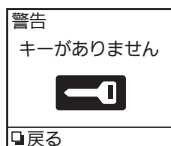
ZPA0487

- 以下の内容を検知するとマスターウォーニング (OP124) が点灯し、警告を表示します。
- 警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 警告表示中に決定スイッチ□を押すと、元の表示に戻す（また、処置されていない警告を確認する）ことができます。



ZPA0484

インテリジェントキー持ち出し警告



ESH0079Z

- 電源ポジションがONのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

➡ 処置

- インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
- 電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

📖 知識

- 次の場合に表示が消えます。
 - ・インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき。

ドア、トランク開き警告



ESH0561Z

- ドア又はトランクが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。

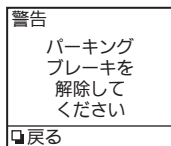
➡ 処置

- ドアやトランクを確実に閉めてください。

⚠ 注意

- 走行前に表示が消えていることを確認してください。ドア、トランクが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ戻し忘れ警告



ESH0081Z

- パーキングブレーキ (P.158) を戻し忘れたまま走行すると (約 7km/h以上)、表示します。

➡ 処置

- すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

🚗 アドバイス

- 走行するときは必ずパーキングブレーキを解除してください。

燃料残量警告



ESH0082Z

- 燃料が少なくなると表示します。残っている燃料で航続可能な距離を表示します。

➡ 処置

- すみやかに指定の燃料を補給してください。

🚗 アドバイス

- 燃料切れでエンジンが停止したときは、15ℓ以上給油してください。給油量が15ℓ未満の場合、システムが燃料切れと判断してハイブリッドシステムが始動できない場合があります。

📖 知識

- 燃料の残量が約12ℓ以下で表示します。
- 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わる場合があります。

キーシステム警告



ZPA0486

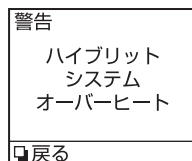
- ステアリングロックやインテリジェントキーのシステムに異常があると表示します。

➡ 処置

- 日産販売会社に連絡してください。ハイブリッドシステムが始動できないことや電源ポジションがLOCKから動かないことがあります。

🔍インテリジェントキー…P.32

ハイブリッドシステムオーバーヒート警告



ZPA0779

- ハイブリッドシステムの温度が異常に高くなると表示します。

➡ 処置

- すみやかに安全な場所に停車してください。すぐに停車できない場合は、急発進・急加速を避け、安全な場所まで移動して停車してください。表示が消えたら走行できます。
- 表示が消えたあと、またすぐに表示するようなときは、日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 表示したまま走行を続けると、走行できなくなることがあります。その場合は、セレクタレバーをPに入れ、表示が消えるまでしばらく停車してください。このとき、P戻し警告(ⓀP.111)と交互に表示します。

👉 アドバイス



- 表示したまま走行しないでください。ハイブリッドシステムが破損するおそれがあります。
- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。坂道で停車するときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。

P戻し警告



ESG0233Z

次のような場合に表示します。

- セレクトレバーがP以外のとき、電源ポジションをONからOFFにしたとき。
- 走行可能表示灯が点滅中にセレクトレバーを操作したとき。
- セレクトレバーがDで走行可能表示灯が点灯時に運転席ドアを開けたとき。
- ハイブリッドシステムの温度が異常に高くなり、走行できなくなったとき。
- セレクトレバーがNでリチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき。
- 寒冷時に急減速してエンジンが停止したとき。
- 上記以外で、自動的にエンジンが始動できないような故障が発生したとき。

→ 処置

- セレクトレバーをPにしてください。

📖 知識

- P戻し警告を表示したときは、同時にブザーが鳴ります。
- 次の場合に表示が消えます。
 - ・セレクトレバーをPにしたとき。
 - ・電源ポジションをONにしたとき。

タイヤ空気圧警告*

タイヤ
空気圧不足
点検して
下さい

ZPA0943

- タイヤ空気圧が低下すると、表示します。

→ 処置

- 安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。

📖 知識

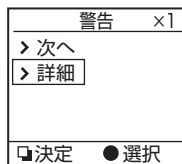
- タイヤ空気圧警告が表示された場合、タイヤ空気圧警告灯が点灯します。

タイヤ空気圧警告灯…P.136

タイヤ空気圧警報システム…P.308

〈警告の確認のしかた〉

- 選択スイッチ●で「詳細」を選び、決定スイッチ□で決定します。



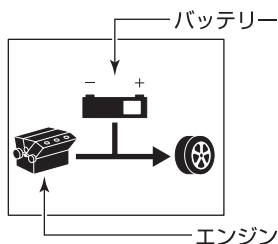
ZPA0487

- 警告が複数ある場合は、決定スイッチ□を押して表示を切り替えます。

📖 知識

- 表示する警告がない場合は、上記画面は表示されません。

⑨ エネルギーモニター



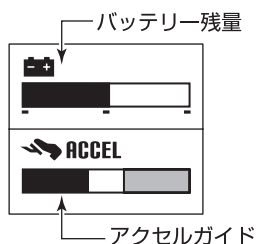
ZPA0820

- ハイブリッドシステムに関するエネルギーの流れを矢印の向きで表示します。
- バッテリーは、リチウムイオンバッテリーの残量を表示します。
 - +：残量が多い
 - ：残量が少ない

知識

- リチウムイオンバッテリーの残量は、走行状態により増減します。それに応じて残量表示も左右に増減します。
- ナビゲーションシステムの画面(別冊)に表示されるエネルギーモニターの簡易画面を表示します。
- エネルギーモニターについて…P.14も合わせてお読みください。

⑩ バッテリー残量／アクセルガイド



ZPA0821

バッテリー残量

- リチウムイオンバッテリーの残量を表示します。







知識

- リチウムイオンバッテリーの残量は、走行状態により増減します。それに応じて残量表示も左右に増減します。
- ナビゲーションシステムの画面(別冊)のバッテリー残量表示と連動していません。

アクセルガイド

- エコドライブをサポートするために、燃費のよいアクセルペダルの踏み加減を表示します。
- ドライブモードセレクター（[P.168](#)）でドライブモードをECOにしたとき、ECOドライブインジケータ（[P.171](#)）とECOペダル*（[P.239](#)）が連動して作動します。

〈作動例〉

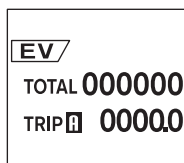
アクセルペダル 踏み込み状態	エコ運転 領域内	エコ運転 領域を超え そうなとき	エコ運転 領域を超え たとき
メーター内 ECOドライブ インジケータ	 (緑色点灯)	 (緑色点滅)	 (オレンジ 色点灯)
アクセル ガイド表示			

ZPA0790

知識

- インテリジェントクルーズコントロール*が作動しているときは、表示されません。

①EVモードオド／トリップメーター



ZPA0785

※イラストはAの表示です。

EVモードオドメーター（積算距離計）

メーターのみで走行した総走行距離を表示します。

EVモードトリップメーター（区間距離計）

メーターのみで走行した区間距離を表示します。

TRIP AとTRIP Bで2種類の区間を記録できます。

- トリップ切り替えスイッチを押すごとにAとBが切り替わります。
- リセットするときは0にしたい方を表示させ、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。

 **知識**

- 12Vバッテリーを外したときは、AとBの記憶が消去され0に戻ります。

インテリジェントキー表示・警告

- 警告を表示したときは、同時に警報ブザーが鳴ります。
- インテリジェントキー機能の警報について…P.137

■ハイブリッドシステム始動操作表示



ESG0226Z

- ブレーキペダルを踏みながらハイブリッドシステムを始動することを表示します。

➡ 処置

- ブレーキペダルを踏みながら、パワースイッチを押してください。

📖 知識

- 次の場合に表示が消えます。
 - ・ハイブリッドシステムを始動したとき。
 - ・電源ポジションをOFFにしてから約15秒経過したとき。
 - ・リモートコントロールエントリー機能、又はリクエストスイッチでドアを施錠したとき。
 - ・セレクトレバーが📺以外になったとき。

■ステアリングロック未解除表示



ESG0227Z

- ステアリングロックを解除できないときに表示します。

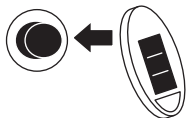
➡ 処置

- ハンドルを軽く左右に回しながらパワースイッチを押してください。

📖 知識

- 次の場合に表示が消えます。
 - ・ステアリングロックを解除したとき。
 - ・表示から約15秒経過したとき。

■インテリジェントキー非作動時ハイブリッドシステム始動表示



ZPA0489

- インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、インテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないうちに表示します。

➡ 処置

- ブレーキを踏みながら、インテリジェントキーの裏面をパワースイッチに接触させてください。(OP.157)

■インテリジェントキー電池切れ表示



ZPA0118

- インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。

➡ 処置

- 新しい電池に交換してください。(OP.39)

📖 知識

- 次の場合に表示が消えます。
 - ・表示から約30秒経過したとき。
 - ・電源ポジションをON以外にしたとき。

■インテリジェントキー持ち出し警告



ZPA0490

- 電源ポジションがAccのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

➡ 処置

- インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
- 電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

 知識

- 次の場合に表示が消えます。
 - ・インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき。

- インテリジェントキーを携帯していないときに表示します。

➡ 処置

- インテリジェントキーを携帯してください。

- 携帯しているインテリジェントキーの電池が切れているときに表示します。

➡ 処置

- 新しい電池に交換してください。
(P.39)

- 登録されていないインテリジェントキーを携帯しているときに表示します。

➡ 処置

- 自車のインテリジェントキーであることを確認してください。

 知識

- 表示から約5秒経過すると消灯します。

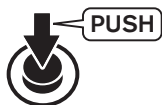
■キーシステム警告



ZPA0486

- キーシステム警告…P.110をお読みください。

■電源ポジションOFF忘れ警告



ESG0234Z

- 電源ポジションがAccでP戻し忘れ警告の表示中に、セレクトレバーを操作してPにしたときに表示します。
- 上記を操作後、パワースイッチを押して電源ポジションをONにしたときに表示します。

➔ 処置

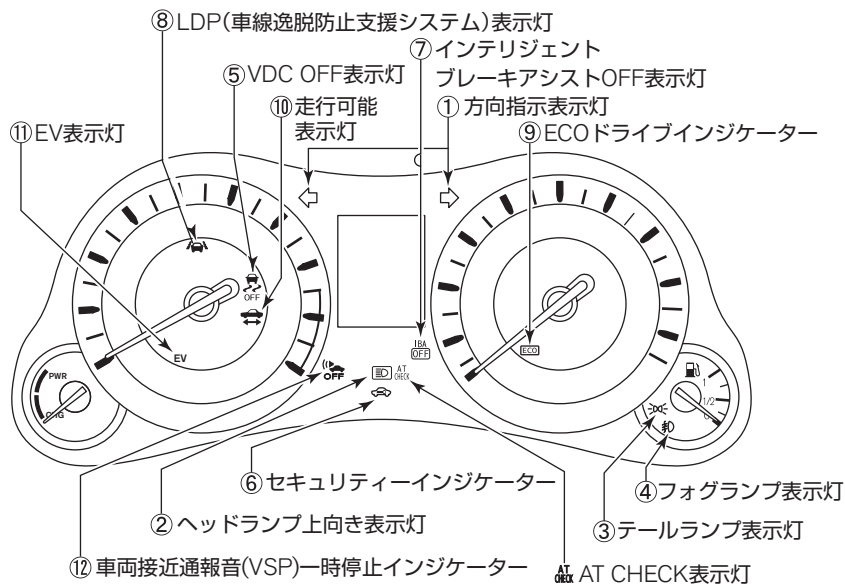
- 電源ポジションをOFFにしてください。

📖 知識

- 次の場合に表示が消えます。
 - ・電源ポジションをOFFにしたとき。
 - ・ハイブリッドシステムを始動したとき。
 - ・セレクトレバーをP以外にしたとき。

表示灯

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。



ZPA0979

知識

- 電源ポジションをONにすると、AT CHECK表示灯が約2秒間点灯し消灯しますが、表示灯のチェックのためで異常ではありません。

①方向指示表示灯



TCA0087Z

方向指示器又は非常点滅表示灯を
作動させると点滅します。

知識

- 方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。
- 電球（バルブ）を交換するときは…P.323

- 方向指示器スイッチ…P.147
- 非常点滅表示灯スイッチ…P.147

目次

警告

走行する前に

走行するだけ

室内装備の
使用がた車と
あの手な万
のときサー
ビスデー
タさ
くいん

②ヘッドランプ上向き表示灯



TCA0089Z

ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。

●ヘッドランプの上向き、下向き切り替え…P.146

③テールランプ表示灯



TCC0014Z

車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。

●ライトの点灯・消灯…P.143

④フォグランプ表示灯



ESD0132Z

フォグランプを点灯させると点灯します。

●フォグランプの点灯・消灯…P.146

⑤VDC OFF表示灯



ZPA0492

VDC OFFスイッチを押すと点灯します。

●VDC…P.172

⑥セキュリティーインジケーター



TSC1941Z

電源ポジションがON以外のときに点滅します。

 **アドバイス**

- 電源ポジションをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

●イモビライザー（盗難防止装置）… P.38

●カーアラーム（盗難防止装置）… P.47

⑦インテリジェントブレーキアシストOFF表示灯*



ZPA0334

インテリジェントブレーキアシストをOFFにすると点灯します。

- インテリジェントブレーキアシスト…P.243

⑧LDP（車線逸脱防止支援システム）表示灯* （緑色点灯）



ZPA0359

- LDP（車線逸脱防止支援システム）がONのとき、緑色に点灯します。
 - LDP（車線逸脱防止支援システム）…P.178
 - オレンジ色に点灯・点滅したときや、緑色に点滅したときはLDP（車線逸脱防止支援システム）警告灯／LDW（車線逸脱警報）警告灯（●P.132）をお読みください。

⑨ECOドライブインジケーター



ZPA0493

- ドライブモードセレクターでドライブモードをECOにして走行中に点灯又は点滅します。
 - ドライブモードセレクター…P.168
 - ECOペダル*…P.239

⑩走行可能表示灯



ZPA0782

- 電源ポジションがONのとき、走行できる状態になると、点灯します。（走行中も点灯し続けます。）
- ハイブリッドシステム始動時、走行可能な状態になるまで点滅します。

アドバイス

- 走行可能表示灯が点灯するまでは、セレクタレバーをPのままにしてください。

- ハイブリッドシステムの始動のしかた…P.153

⑪EV表示灯

EV

ZPA0783

モーターのみで走行している間点灯します。

⑫車両接近通報音（VSP）一時停止インジケーター



ZPA0784

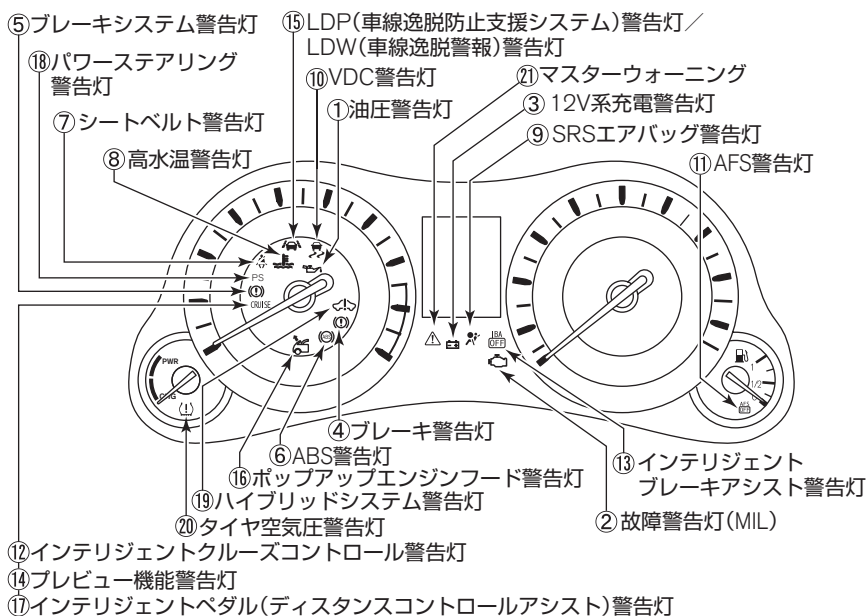
VSP一時停止スイッチを押すと点灯します。

車両接近通報装置（VSPシステム）

…P.176

警告灯

警告灯が点灯又は点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。電源ポジションをONにすると表示します。



ZPA0944

目次

警告

走行する前に

走行するうち

室内装備の
使用かたつきあの上
かたな

万のとき

サービスデー
タ

さくいん

①油圧警告灯



TCA0097Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

➔ 処置

- 点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してハイブリッドシステムを停止し、日産販売会社に連絡してください。

注意

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

②故障警告灯 (MIL)



TCA0098Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、エンジン電子制御システムに異常があると点灯又は点滅します。

➔ 処置

- 点灯又は点滅したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。

③12V系充電警告灯



TCA0099Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、12Vバッテリーの充電系統に異常があると、点灯します。

→ 処置

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。

注意

- 点灯したまま走行しないでください。12Vバッテリーが破損したり、エンジンが不意に停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

④ブレーキ警告灯（赤色表示）



TCE0049Z

パーキングブレーキを解除しているとき、電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONで、次のような場合に点灯します。
 - ・パーキングブレーキをかけたとき。

→ 処置

- 走行中はパーキングブレーキを解除してください。

注意

- パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告（○P.109）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（○P.141）が鳴ります。

- ブレーキ液が不足しているとき。
（パーキングブレーキを解除しているとき。）

→ 処置

- パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効が悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

- ・ブレーキシステムに異常があるとき。

(パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でブレーキシステム警告灯〔黄色表示〕と同時に点灯したとき。)

➡ 処置

- ・ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効が悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。



知識

- ・ブレーキシステムの電源系に異常があるときは、ブザーが鳴ります。

- ・ブレーキシステムに異常があるとき。

(パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したとき。)

➡ 処置

- ・ハイブリッドシステム始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。



警告

- ・パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑤ ブレーキシステム警告灯（黄色表示）



TCE0049Z

ハイブリッドシステムを始動させると数秒間点灯後、消灯します。

警告

- ハイブリッドシステム作動中に、パーキングブレーキを解除してもブレーキ警告灯（赤色表示）とブレーキシステム警告灯（黄色表示）がともに点灯し続けるときは、走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 次のような場合に点灯します。
 - ・ 電源ポジションがONで、ブレーキシステム及び以下の機能に異常があるとき。
 - 回生協調ブレーキ（○P.175）
 - ヒルスタートアシスト（○P.176）
 - ブレーキ効き感向上機能（○P.175）

→ 処置

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

- ・ ブレーキシステムに異常があるとき。

（パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でブレーキ警告灯〔赤色表示〕と同時に点灯したとき。）

→ 処置

- ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。このときは、ブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効が悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

知識

- ブレーキシステムの電源系に異常があるときは、ブザーが鳴ります。

⑥ABS警告灯



TSA1106Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又はハイブリッドシステム始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

👉 アドバイス

- 点灯したときはABSは作動しませんが、ABSのない普通のブレーキ性能は確保されています。この場合は、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

📖ABS…P.247

⑦シートベルト警告灯



TCH0012Z

電源ポジションがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときはシートベルトを着用してください。

⚠️ 警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

📖 知識

- 点灯したまま走行すると、シートベルト非着用警報(シートベルトリマインダー)(📖P.142)が鳴ります。

⑧高水温警告灯



ESC0041Z

電源ポジションをONにすると約2秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONで、エンジン冷却水の温度が異常に高くなったとき点灯します。

➔ 処置

- 点灯したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。
- オーバーヒートしたときは…P.317

警告

- そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

⑨SRSエアバッグ警告灯



TCA0335Z

電源ポジションをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯又は点滅を続けます。

➔ 処置

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告

- 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSエアバッグ…P.88

ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト…P.81

⑩VDC警告灯



ESH0408Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- VDC作動中に点滅します。
- 電源ポジションがONのとき、以下のシステムに異常があると点灯します。
 - ・VDC (OP.172)
 - ・コーナリングスタビリティアシスト (OP.174)
 - ・左右制動力配分機能 (OP.175)
 - ・ブレーキアシスト機能 (OP.241)

➡ 処置

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

🚗 アドバイス

- 点灯したときは、上記のシステムは停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⑪AFS警告灯*



ECE0028Z

電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、アクティブAFSシステムに異常があると点滅します。

➡ 処置

- 点滅したときは、日産販売会社で点検を受けてください。

👁️アクティブAFSについて…P.144

⑫ インテリジェントクルーズコントロール警告灯*

CRUISE

ESA1445Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、インテリジェントクルーズコントロールのシステムに異常があると、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントクルーズコントロールを解除します。

➡ 処置

- 点灯したときは安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから再度セット操作をしてください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、又は警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
※インテリジェントクルーズコントロール警告灯は、プレビュー機能警告灯とインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯を兼用しています。

🔍インテリジェントクルーズコントロール…P.191

⑬ インテリジェントブレーキアシスト警告灯*

IBA
OFF

ZPA0334

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、インテリジェントブレーキアシスト、コーナリングスタビリティアシストに異常があると“ピー”というブザー音とともに点灯します。
- ハイブリッドシステム作動中、インテリジェントブレーキアシストが一時的に作動しない状態にあるとき点灯します。（ブザー音は鳴りません。）

➡ 処置

- “ピー”というブザー音とともに点灯した場合は、安全な場所に停車し、一度ハイブリッドシステムを停止してから、センサー部が汚れていないか確認してください。汚れているときは、汚れている部分を柔らかい布で清掃してから、ハイブリッドシステムを再始動してください。センサー部が汚れていないときは、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

🔍インテリジェントブレーキアシスト…P.243

🔍コーナリングスタビリティアシスト…P.174

⑭プレビュー機能警告灯*

CRUISE

ESA1445Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、プレビュー機能に異常があると“ピー”というブザー音とともに点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、装置の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
※プレビュー機能警告灯は、インテリジェントクルーズコントロール警告灯とインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯を兼用しています。
- ハイブリッドシステム作動中に警告灯が点灯したときは、プレビュー機能の作動は停止しますが、プレビュー機能のない普通のブレーキとして使えます。

🔍ブレーキアシスト（プレビュー機能付）…P.241

⑮LDP（車線逸脱防止支援システム）警告灯* / LDW（車線逸脱警報）警告灯*
（緑色点滅・オレンジ色点灯・オレンジ色点滅）



ZPA0359

電源ポジションをONにすると、約1秒間オレンジ色に点灯したあと緑色に約1秒間点灯し、消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、LDW（車線逸脱警報）に異常があると、オレンジ色に点灯します。
- ハイブリッドシステム作動中、LDP（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、“ポー”というブザー音とともにオレンジ色に点灯します。
- LDP（車線逸脱防止支援システム）又はLDW（車線逸脱警報）がONのとき、走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づくと、ブザー音とともにオレンジ色に点滅します。
- 炎天下に駐車したときなど、車線認識カメラが高温になり、LDW（車線逸脱警報）が作動できなくなると、警告灯がオレンジ色に点滅します。（温度が下がると自動的に消灯します。）
- 炎天下に駐車したときなど、車線認識カメラが高温になり、LDP（車線逸脱防止支援システム）が作動できなくなると、“ポー”というブザー音とともに警告灯がオレンジ色に点滅します。

●ハイブリッドシステム作動中、次のような場合はLDP（車線逸脱防止支援システム）が適切に作動できないおそれがあるため、自動的に作動を停止し、“ポー”というブザー音とともに緑色に点滅します。

- ・ドライブモードをSNOWにしたとき。
- ・ABS又はVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき。
- ・VDCをOFFにしたとき。

○LDW（車線逸脱警報）…P.183

○LDP（車線逸脱防止支援システム）…P.178

緑色に点灯したときはLDP（車線逸脱防止支援システム）表示灯（○P.121）をお読みください。

➡ 処置

- オレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、再度ハイブリッドシステムを始動してください。
- 緑色又はオレンジ色に点滅を続けるときは、スイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、正常に作動する条件で再びスイッチをONにしてください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしても点灯、点滅を続けるときは、装置の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

⑩ポップアップエンジンフード警告灯



ESH0559Z

電源ポジションをONにすると約7秒間点灯後消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、ポップアップエンジンフードの電子制御システムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯を続けるときは、放置したままで走行しないでください。万一のときポップアップエンジンフードが正常に作動せず、歩行者の頭部への衝撃を緩和できないおそれがあります。

⑰インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯*

CRUISE

ESA1445Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

ハイブリッドシステム作動中、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）のシステムに異常があると、“ピー”というブザー音とともにシステムを解除します。

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから再度インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）のスイッチをONにしてください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもスイッチがONにならない、又は警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
※インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）警告灯は、インテリジェントクルーズコントロール警告灯とプレビュー機能警告灯を兼用しています。

🔍インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）… P.222

⑱パワーステアリング警告灯

PS

TSA2076Z

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- ハイブリッドシステム作動中、パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

🚗 アドバイス

- 停車中又は極低速走行中にハンドル操作を繰り返したり、ハンドルをいっばいに切った状態を長く続けると、パワーステアリングシステムの過熱を防ぐためにシステムの動きを制限します。そのためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。
ただし、さらにハンドル操作を続けると、パワーステアリングシステムは作動を停止します。その場合は、電源ポジションをOFFにし、しばらくハンドル操作を控えてください。パワーステアリングシステムの温度が下がってから、再度ハイブリッドシステムを作動させると元の状態に戻ります。
- パワーステアリングシステムが過熱するようなハンドル操作を繰り返すと、パワーステアリングシステムが故障する原因となります。

 知識

- 点灯しているときは、パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドル操作力が重くなります。
- ハンドル操作時に、機械が作動するような音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

⑱ハイブリッドシステム警告灯



ZPA0787

電源ポジションをONにすると点灯し、ハイブリッドシステムが始動すると消灯します。

- モーターやハイブリッドシステムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。

- 走行中にリチウムイオンバッテリーの残量が低下し、走行できなくなるおそれがあると点滅します。

➡ 処置

- 点滅したときは、ブレーキを踏み、すみやかに安全な場所に停車してください。点滅が消えたあとは、走行可能な状態になります。

目次

 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使用かたつ車との
あの上か
手な

万のとき

サービステータ

さくいん

②0 タイヤ空気圧警告灯*



ZPA0672

- 電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。
- タイヤ空気圧警報システムに異常があると約1分間点滅後、点灯します。
- タイヤ空気圧が低下し、タイヤ空気圧警告を表示すると点灯します。

➡ 処置

- タイヤ空気圧警報システムに異常があったときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- タイヤ空気圧が低下したときは、安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。



知識

- 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにも点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。
- 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。

○タイヤ空気圧警告…P.111

○タイヤ空気圧警報システム…P.308

②1 マスターウォーニング



ESG0221Z

- 車両情報ディスプレイに警告が表示されると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは車両情報ディスプレイの警告表示を確認して、適切な処置をしてください。



知識

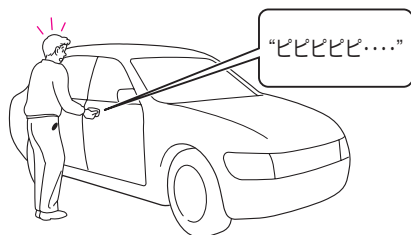
- 警告された要因が処置されると消灯します。
- 車両情報ディスプレイの表示を切り替えても、警告された要因を処置しないとマスターウォーニングは消灯しません。

○車両情報ディスプレイ（警告）…
P.107

インテリジェントキー機能の警報について

インテリジェントキー機能では、誤操作などによる予期せぬ車両の動き出しや、車両盗難などを防ぐため、車内外で警報ブザーを鳴らします。

- 警報ブザーが鳴ったときは、必ず車両及びインテリジェントキーの確認を行ってください。



ESE0857Z

知識

- 警報と同時に車両情報ディスプレイにインテリジェントキー表示・警告 (P.115) を表示する場合があります。

■ ドア開閉時の警報

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピッピッピッ”と鳴ったとき



ドアを閉めたときに、車内警報ブザーが“ビビビビビビ”と鳴ったとき

- 電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
⇒ インテリジェントキーを車内に戻してください。
⇒ 電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

🚗 アドバイス


- インテリジェントキーがインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内、リヤパーセル上、トランク内などがあると警報ブザーが作動することがあります。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピー”と鳴り続けたとき

- セレクトレバーが以外に入っているときに、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
⇒ セレクトレバーをにしてからインテリジェントキーを持ち出してください。



知識

- 車外警報ブザーはセレクトレバーをに戻すと停止します。

運転席ドアを開けたときに、車内警報ブザーが“ポーン、ポーン…”と鳴ったとき

- 電源ポジションがLOCKになっていますか？
⇒ 電源ポジションをLOCKにしてください。



知識

- 車内警報ブザーは下記のいずれかの操作を行うと停止します。
 - ・ 電源ポジションをLOCKにする。
 - ・ 運転席ドアを閉める。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ビビビビ…”と鳴ったとき

- 無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒ リクエストスイッチに触れないようにしてドアを閉めてください。

■ ドアの施錠及びトランク開閉時の警報

リクエストスイッチを押したときに、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴ったとき

- 電源ポジションがOFF又はLOCKになっていますか？
⇒ 電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。
- インテリジェントキーを車内又はトランク内に置き忘れていませんか？
⇒ インテリジェントキーを取り出してください。
- いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
⇒ ドアを閉め直してください。
- ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒ ドアを閉めてからリクエストスイッチを押してください。



知識

- 警報ブザーが鳴ったときは、施錠されていません。原因を確認し、再度施錠してください。
- 次の場合にインテリジェントキーのドア施錠スイッチを押しても警報ブザーが作動します。
 - ・ いずれかのドアが半ドアのとき。
 - ・ ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押したとき。

トランクを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピー”と鳴ったとき

- インテリジェントキーをトランク内又は車内に置き忘れていませんか？
⇒インテリジェントキーを取り出してください。



知識

- 車外警報ブザーは約10秒後に停止します。
- 車外警報ブザーが鳴っているときに以下の操作を行うと車外警報ブザーは停止します。
 - ・トランク内又は車内のインテリジェントキーを取り出し、再度トランクを閉めたとき。
 - ・いずれかのドアを開けたとき。
 - ・インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押して、ドアを施錠したとき。
 - ・インテリジェントキーのドア解錠スイッチを押して、ドアを解錠したとき。
 - ・リクエストスイッチを押してドアを解錠したとき。

■パワースイッチを押したときの警報

車内警報ブザーが“ピピピピピッ”と鳴ったとき

- セレクトレバーがPになっていませんか？
⇒セレクトレバーをPにしてください。

車内警報ブザーが“ピピッピピッピッ”と鳴ったとき

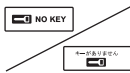



- インテリジェントキーを携帯していますか？
⇒インテリジェントキーを携帯してください。
⇒携帯している場合は、電池を交換（P.39）してください。

■セレクトレバーをDにしたときの警報

車内警報ブザーが“ピピピピピッ”と鳴ったとき

- 電源ポジションがOFFになっていますか？
⇒電源ポジションをOFFにしてください。

■警報ブザー音別一覧表

警報ブザー音	車両情報ディスプレイ	何をしたときに鳴ったか？	確認すること
車外警報ブザー ピピピピ…	—	リクエストスイッチを押したとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
	—		インテリジェントキーを車内又はトランク内に置き忘れていませんか？
	—		いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
	—		ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
	—	インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき	ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していませんか？ いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
	—	ドアを閉めたとき	無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
ピッピッピッ		ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
ピー		ドアを閉めたとき	セレクトレバーがPになっていませんか？
車内警報ブザー ポーンポーン		運転席ドアを開けたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
		ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
		パワースイッチを押したとき	インテリジェントキーを携帯していますか？（※）
	ピビビビビッ		パワースイッチを押したとき
		セレクトレバーをPにしたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？

※：インテリジェントキーを携帯していても警報ブザーが鳴るときは、インテリジェントキーの電池を交換してください。（P.39）

警報装置

- インテリジェントキー機能の警報については、P.137をお読みください。

■ブレーキパッド摩耗警報

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属音（キーキー音）が発生します。

- 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

■ヘッドランプ消し忘れ警報

ライトを点灯したまま、電源ポジションをAcc、OFF又はLOCKにして運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

- ライトスイッチ…P.143

■フォグランプ戻し忘れ警報

ライトスイッチがAUTO位置かつフォグランプがONで電源ポジションをOFFにすると、約2秒間ブザーが鳴ります。

■リバースブザー

電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRにすると、車内でブザーが鳴ります。

📖 知識

- ブザーを鳴らして、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。車外の人に対する警報ではありません。

■パーキングブレーキ戻し忘れ警報

パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、ブザーが鳴ります。

- すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効が悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- パーキングブレーキ…P.158

■シートベルト非着用警報

(シートベルトリマインダー)

運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると(約15km/h以上)、約90秒間ブザーが鳴ります。



警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。



知識

- 走行前にメーター内のシートベルト警告灯 (P.128) が消灯していることを確認してください。

スイッチの使いかた

ライトスイッチ

アドバイス

- ハイブリッドシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーが上がりハイブリッドシステムの始動ができなくなります。

知識

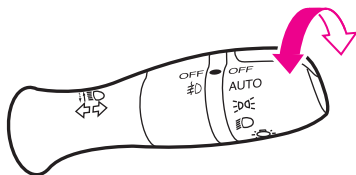
- ライトを点灯したままハイブリッドシステムを停止して運転席ドアを開けると、ヘッドランプ消し忘れ警報 (OP.141) が鳴ります。
- 夜間など周囲が暗い場所で車から降りるときに以下のような操作を行うと、ライトが周囲を照らし便利です。
 - ・電源ポジションがLOCK又はAccのとき、ライトスイッチを手前に1回引くと、ライトが約30秒間点灯したあと、自動的に消灯します。
 - ・点灯中、ライトスイッチを手前に引くたびに点灯時間が約30秒間延長され、最大約2分間まで延長することができます。

バッテリーセーバー (12Vバッテリー)

- ライトを点灯したままハイブリッドシステムを停止し、リモートコントロールエントリー機能又はリクエストスイッチで施錠すると12Vバッテリーのバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。(次回運転席ドアを開けるとライトが再点灯します。)
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
 - ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる…P.29

ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると、次のように点灯・消灯します。



ZPA0496

スイッチ位置	ヘッドランプ (前照灯)	車幅灯・尾灯 番号灯
OFF	消 灯	消 灯
AUTO	自動点灯・消灯	
 TCA0106Z	消 灯	点 灯
 ECD0021Z	点 灯	点 灯

●オートライトシステムの使いかた… P.145

■キセノンヘッドランプについて

光量が多く太陽光に近い白色であるため、明るく自然で見やすいヘッドランプです。

警告

- キセノンヘッドランプは、点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの分解、改造はしないでください。ランプの脱着、バルブの交換は、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- ランプが切れかかったときには、一般の蛍光灯と同じように、著しく明るさが低下したり、点滅したり、赤味を帯びた色になることがあります。そのような現象が現れたときは、日産販売会社にご相談ください。

知識

- ヘッドランプ点灯時は、安定するまで若干明るさや色が変わることがあります。

オートレベライザー

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると自動的に照射方向を調整するシステムです。

■アクティブAFSについて★

ヘッドランプが自動的に進行方向を照射し、夜間走行時に曲路の視覚認識を高めるシステムです。

- ヘッドランプ点灯時、カーブや交差点などでハンドルを操作すると作動します。

警告

- ランプの脱着、バルブの交換は、日産販売会社にご相談ください。

知識

- 左側はセレクトレバーが**Ⓚ**、**Ⓛ**以外するとき作動し、右側はセレクトレバーが**Ⓚ**、**Ⓛ**以外で、車速が約25km/h以上するとき作動し、車速が約5km/h以下になると作動を停止します。
- ハイブリッドシステム始動時、ヘッドランプが細かく動きますが、システムの作動をチェックしているためで異常ではありません。

 AFS警告灯…P.130

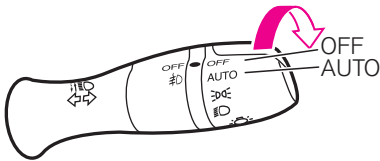
オートライトシステムの使いかた

■オートライトシステムについて

本車両のオートライトは、車外の明るさに応じてライトを自動的に点灯・消灯させるシステムです。

■使いかた

電源ポジションがONのときに使えます。



ZPA0497

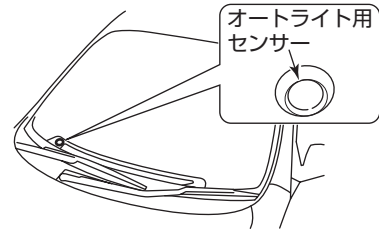
- スイッチを回し、●の位置にマーク(AUTO)を合わせると、次のように点灯・消灯します。

ワイパー 車外	作動中	停止
明るいとき	点灯	消灯
薄暗いとき	点灯	点灯
暗いとき	点灯	点灯

- 電源ポジションをOFFにすると消灯します。

🚗 アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



ZPA0202

📖 知識

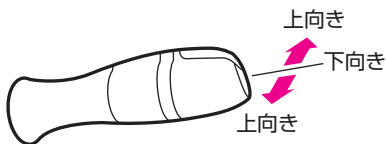
- ワイパー作動時は、ワイパーが数回作動すると点灯します。
- ライトスイッチがAUTOのときフォグランプスイッチをONにすると、車外の明るさに関係なくフォグランプとヘッドランプが点灯します。

フロントワイパー連動・薄暮れ感知機能

- 夜間やトンネルなどの走行時に加え、歩行者事故等が多く発生している夕暮れ時や雨天でのフロントワイパー作動時もライトを点灯させることにより、自車両を目立たせ、周囲の歩行者やドライバーへの注意を喚起します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え

- ヘッドランプ点灯時、スイッチを車両前方に押しと上向き（ハイビーム）になります。
（メーター内の表示灯が点灯）
- スイッチを元の位置に戻すと下向き（ロービーム）になります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、スイッチを手前に引いている間も、ヘッドランプの上向きが点灯します。



ZPA0327

🚗 アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

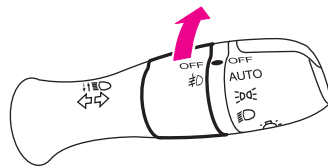
🔆ヘッドランプ上向き表示灯…P.120

フォグランプの点灯・消灯

ライトが点灯しているときに使えます。

霧などで視界が悪いときに使います。

- スイッチの🔆マークを●の位置に合わせると点灯します。
（メーター内の表示灯が点灯）
- 消灯するときは、OFFに合わせます。
（メーター内の表示灯が消灯）



ZPA0498

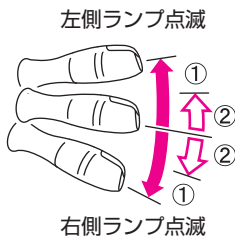
🔆ライトの点灯・消灯…P.143

🔆フォグランプ表示灯…P.120

方向指示器スイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

- スイッチを①の位置まで上又は下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
(メーター内の表示灯が点滅)
- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上又は下に軽く押さえます。
スイッチを押さえている間は点滅し、手を離すと消灯します。



ZPA0328

🚗 アドバイス

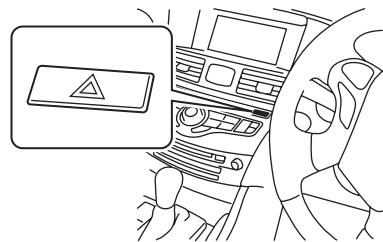
- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
- 🔍電球 (バルブ) を交換するときは…P.323

🔍方向指示表示灯…P.119

非常点滅表示灯スイッチ

故障などでやむを得ず路上駐車するときや、非常時に使います。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯 (P.119) が点滅します。
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。



ZPA0499

🚗 アドバイス

- ハイブリッドシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーが上がりハイブリッドシステムの始動ができなくなります。

📖 知識

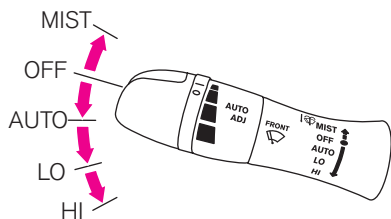
- SRSエアバッグが作動するような衝撃を感知すると、非常点滅表示灯が自動的に点滅します。
非常点滅表示灯スイッチを押すと消灯しますが、2次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。
また、衝撃の大きさによっては、点滅しないことがあります。

ワイパー・ウォッシャー スイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

ワイパーの使いかた

- スイッチを下げる (MISTは上げる) と、次のようにワイパーが作動します。
- 止めるときは、OFFの位置に戻します。



ZPA0500

スイッチ位置	作 動
MIST	1 回 作 動
OFF	停 止
AUTO	自 動 制 御
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

🚗 アドバイス

- 雪が降りそうときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで(約1分程度)待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード(ゴム部)を傷つけるおそれがあります。

📖 知識

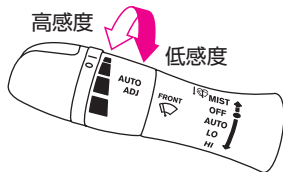
- MISTの位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。
 - ウォッシャースイッチを操作したあと、ガラスに残ったウォッシャー液をふき取るため、約3秒後に一度ワイパーが作動します。
 - ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくライトが点灯します。
- 🔍 オートライトシステムの使いかた…
P.145

■雨滴感知式ワイパー

- スイッチ位置がAUTOのとき、ルームミラー部にある雨滴感知センサーによって降雨を感知し、降雨量と車速に応じて作動（低速及び高速）の調節を自動で行います。

センサー感度

- センサーの感度を調節するときは、スイッチを回します。



ZPA0501

高感度：雨滴感知センサーの感度が高くなります。

低感度：雨滴感知センサーの感度が低くなります。

⚠ 注意

- 電源ポジションがONでスイッチ位置をAUTOにしているとき、雨滴感知センサー上部のフロントガラスに手で触れたり、水分を含んだ布などを近づけるとワイパーが作動することがあります。ケガをしたり、ワイパーの破損につながるおそれがありますので、注意してください。また、洗車時には、スイッチ位置を必ずOFFにしてください。



ZPA0042

アドバイス

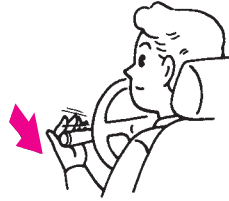
- 降雨時でも雨滴が雨滴感知センサーにあたらないと、雨滴感知センサーが降雨を検知しないためワイパーが作動しない場合があります。
- 雨滴感知センサーに泥、指紋、油膜、虫などが付着したり、排気ガスをあびたりするとワイパーが作動することがあります。また、夜間などは目視しづらいわずかな水滴も検知し、ワイパーが作動することがあります。
降雨時以外はなるべくスイッチ位置をOFFにしてください。
- フロントガラスに撥水処理を施している場合は、施工していないときに比べ、雨滴が流れやすくなるため、雨滴感知センサーが降雨量が多いと感知してワイパーの作動回数が増える場合があります。
- ワイパーブレードの長さや形状が異なると、正常に作動しないことがあります。サイズにあった日産純正品をおすすめします。

知識

- 電源ポジションがONのとき、スイッチ位置をAUTOにすると、1回ワイパーが作動し、その後は雨滴量に応じてワイパーが作動します。
- スイッチ位置をAUTOにしているとき、電源ポジションをONにすると、雨滴感知センサーが雨滴を検知した場合のみワイパーが作動します。

ウォッシャーの使いかた

- スイッチを手前に引くとウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



ECG0033Z

警告

- 寒冷時は、ウインドーガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってウインドーガラスを温めてください。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。
🔍ウォッシャー液の濃度点検…P.292

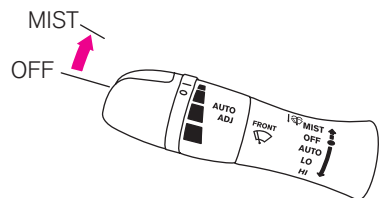
アドバイス

- ウォッシャー液が出ないときは、そのまま30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

ワイパーアームを起こすとき

寒冷時の駐車やワイパー交換などのときに起こします。

- ①セレクトレバーを**□**にします。
- ②ワイパースイッチをMIST側に2回素早く上げます。(ワイパーアームが途中で止まります。)
- ③ワイパーアームを起こします。



ZPA0530

- 元に戻すときは、ワイパーアームを倒してから、MIST側に1回上げます。

アドバイス

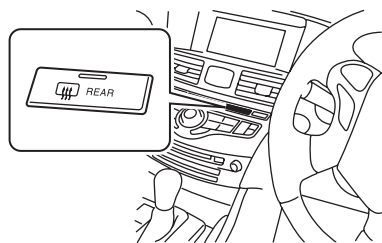
- ワイパーアームを起こした状態でワイパーを作動させると破損するおそれがあります。

リヤデフォグスイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

リヤウインドーガラス内側のくもりやドアミラーの霜やくもりを取るときに使います。

- スイッチを押すと約15分間作動します。(スイッチの表示灯が点灯)
- 作動を止めるときは、スイッチをもう一度押します。(スイッチの表示灯が消灯)



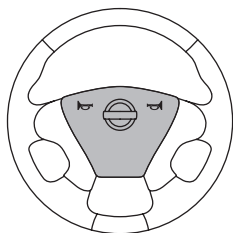
ZPA0502

アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいため12Vバッテリーのバッテリーあがりの原因になります。
- リヤデフォグスイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

ホーンスイッチ

- ハンドルのラップマークがあるパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。



ZPA0515

運転のしかた

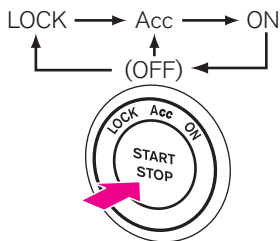
ハイブリッドシステムの始動のしかた

パワースイッチ

■電源ポジションの切り替えかた

インテリジェントキーを携帯しているとき、ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと電源ポジションが切り替わります。

- 電源ポジションがOFFのとき、いずれかのドアを開けるか、又は閉めるとLOCKに切り替わります。



電源ポジション	働 き
LOCK	ステアリングロックが作動する位置
Acc	オーディオ、ドアミラーなどが使える位置
ON	すべての電装品が使える位置
(OFF) ※消灯	電源が切れる位置

ZPA0394

🚗 アドバイス

- 12Vバッテリーのバッテリーあがりを防止するため、以下の条件がそろった状態で約60分経過すると自動的に電源がOFFになります。
 - ・電源ポジションがAccのとき。
 - ・全ドアが閉まっているとき。
 - ・セレクトレバーがPのとき。
- ハイブリッドシステムが停止しているときに、電源ポジションをAcc又はONにしたまま長時間放置しないでください。12Vバッテリーがあがり、ステアリングロックの解除ができなくなります。

 知識

- インテリジェントキーの電池が切れているときは、電源ポジションを切り替えることができません。対処方法については、以下のページをお読みください。
 - インテリジェントキーが正常に作動しないとき…P.157
 - 電池の交換のしかた…P.39
- パワースイッチを押したときに「ステアリングロック未解除表示」(○P.115)が表示されたときは、ハンドルを軽く左右に回しながらパワースイッチをもう一度押してください。



ハイブリッドシステムの始動・停止のしかた

■始動のしかた

運転するときには、インテリジェントキーを運転者が必ず携帯してください。

インテリジェントキーが作動範囲内にあるとき、キーを取り出すことなくハイブリッドシステムの始動ができます。

●ハイブリッドシステム始動の作動範囲…P.34

⚠ 警告

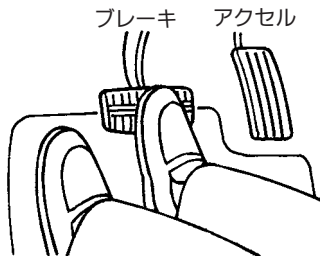
- 換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

⚠ 注意

- ハイブリッドシステムの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

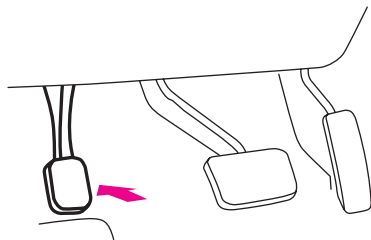
①アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。

- 正しい運転姿勢（○P.58）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



TCA0579Z



②パーキングブレーキがかかっていることを確認します。




ZPA0309

③セレクトレバーがPにあることを確認します。

- セレクトレバーがNでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。

- ④ブレーキペダルをしっかりと踏み
ます。
 - ⑤アクセルペダルを踏まずに、パワー
スイッチを押します。
 - ⑥メーター内の走行可能表示灯  (OP.121) が点滅し、その後点灯
します。
(点灯すれば走行可能です。)
- ・走行可能表示灯  が点灯しない
ときは、一旦電源ポジションを
OFFにしたあと、10秒間待つてから
パワースイッチを押してください。


アドバイス

- 走行可能表示灯が点滅中は、セレクトレ
バーを  から動かさないでください。
- 走行可能表示灯が点灯していれば、ガソ
リンエンジンが停止していてもモーター
で発進可能です。
- 走行中に再始動することはできません。
必ず停車して始動してください。
- 緊急時以外は走行中にパワースイッチの
操作を行わないでください。(走行中に
パワースイッチを3連打以上、又は2秒
間押し続けるとハイブリッドシステムが
停止します。)


知識

- ハイブリッドシステムの始動を連続して
行うと保護機能が作動し、ハイブリッド
システムを始動できなくなることがあり
ます。その場合は、1分以上待ってから
再度パワースイッチを押して始動してく
ださい。




■停止のしかた

- ①停車後、セレクトレバーを  にし
ます。
- ②パワースイッチを押します。
 - ・電源ポジションがOFFになり、ハ
イブリッドシステムが停止します。

注意

- 車から離れるときは以下のことをお
守りください。
 - ・セレクトレバーを  に入れる。
 - ・電源ポジションをLOCKにする。

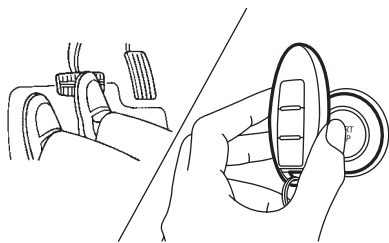
アドバイス

- セレクトレバーを  に戻す前にパワー
スイッチを押すとLOCKになりません。
( 戻し警告 (OP.111) が表示)
ハイブリッドシステムを停止する
ときは、必ずセレクトレバーを  にしてから
パワースイッチを押してください。

■インテリジェントキーが正常に作動しないとき

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないうちは、以下の手順でハイブリッドシステムを始動してください。

- ①セレクトレバーがPにあることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
- ②インテリジェントキーの裏面を、パワースイッチに接触させます。



ZPA0396

- ③LOCKの表示が点灯してから約10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すとハイブリッドシステムが始動します。
 - ・ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、電源が切り替わります。

🚗 アドバイス

- 上記の操作で始動できない場合は、早めに日産販売会社へ連絡してください。

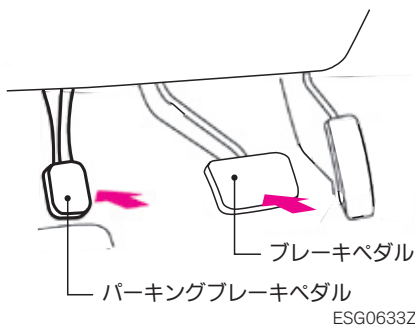
- ハイブリッドシステムを停止するときは、通常のとおり同じように、セレクトレバーをPにしてからパワースイッチを押してください。

📖 知識

- ドアの施錠・解錠は、メカニカルキーを使って行ってください。(P.42)
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。(P.39)

パーキングブレーキ

- パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱい踏み込みます。



- 解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。



警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- パーキングブレーキをかけたあとに、パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

知識

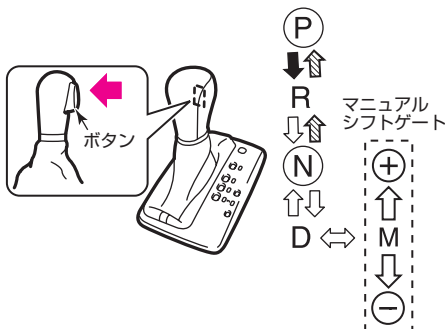
- パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。
- パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告（P.109）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.141）が鳴ります。

セレクトレバーの使いかた

■各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働 き
P パーキング	駐車及びハイブリッドシステムを始動するときの位置 電源ポジションをOFF又はLOCKに切り替えることができます。 (P 以外では電源ポジションをLOCKにできません。)
R リバース	後退するときの位置 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 (車外の人に注意するものではありません。)
N ニュートラル	動力が伝わらない状態の位置 (N でも停車中であればハイブリッドシステムを始動できますが、安全のため P で始動してください。)
D ドライブ	通常走行するときの位置 速度に応じて1速～7速に自動変速します。また走行状況によってアダプティブシフトコントロール (OP.161) が働き、より適切に変速します。
マニュアルモード	マニュアルモード走行するときの位置 走行中に手動でシフトポジションを切り替えることができます。

■セレクトレバーの操作



ZPA0397


セレクトレバー操作

	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
	ボタンを押さずにそのまま操作します。
	ボタンを押して操作します。

⚠ 警告

- 次のような操作は、トランスミッションを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
 - ・車が完全に停止する前に**P**に入れる。
 - ・車を前進させているときに**R**に入れる。
 - ・車を後退させているときに**D**、マニュアルシフトゲートに入れる。

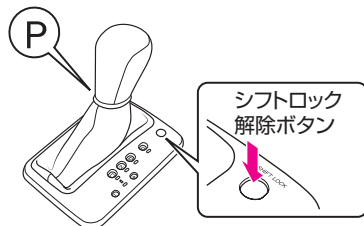
🚗 アドバイス

- 印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反して**P**、**R**に入れてしまうおそれがあります。
- **P**から操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かさないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

■シフトロック解除ボタンの使いかた

万が一セレクトレバーを**P**から動かさせないときに使います。

- ①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。
- ②先の細い物などでシフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



ZPA0013

🚗 アドバイス

- セレクトレバーを**P**から動かさせないときは、シフトロックシステム (OP26) などの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

■ アダプティブシフトコントロール

急な上り下りや、カーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう自動的に適切なギヤチェンジを行います。

上り坂やカーブでの制御

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配やカーブに応じて低速ギヤを保持します。

下り坂での制御

フットブレーキを使う回数を低減させるように坂の勾配に応じて低速ギヤに切り替えます。

スポーティな走行での制御

アクセルペダルを踏み込んだときにもたつきのないスムーズな加速が得られるように、加減速を繰り返すような連続するカーブでは低速ギヤを保持します。

注意

- トランスミッションが、走行開始直後で暖まっていないときや、低速で高負荷な走行を繰り返し過熱しているときは制御が作動しない場合があります。その場合には必要に応じてセレクトレバーをマニュアルモードに入れ、シフトダウンしてください。

マニュアルモードの使いかた

セレクトレバーを操作すると、マニュアルモードになります。
(ポジションインジケーターに、シフトポジション位置を表示します。)

知識

- 安全や走行性能を確保するために、セレクトレバーを操作しても希望するギヤに変速しなかったり、シフトポジションが自動的に切り替わる場合があります。
- セレクトレバーを操作しても希望するギヤに変速しない場合は、シフトポジションインジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。
- 車両が停止すると、1速へ自動的にシフトダウンします。

■各シフトポジション位置の働き

シフト ポジション	働 き
1	1速に固定されます。 より強いエンジンプレーキが必要となときに使います。
2	2速に固定されます。 強いエンジンプレーキが必要となときに使います。
3	3速に固定されます。 エンジンプレーキが必要となときに使います。
4	4速に固定されます。 下り坂で軽いエンジンプレーキをかけたいときなどに使います。
5	5速に固定されます。 上り坂でなめらかな走行をしたいときなどに使います。
6	6速に固定されます。
7	7速に固定されます。

■各シフトポジションの限界速度

シフトポジションを切り替えるときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

(単位：km/h)

エンジン型式	シフトポジション					
	1	2	3	4	5	6
VQ35HR	65	100	160	180	180	180

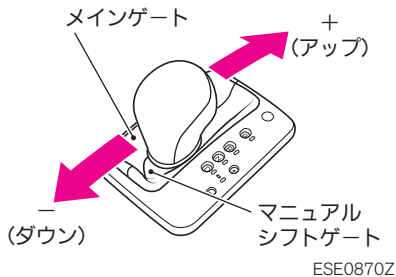
注意

- 限界速度を超えると、エンジンが破損するおそれがあります。

■切り替えかた

- セレクトレバーをマニュアルシフトゲートに入れ、前後に操作します。

- ・シフトポジションアップ：
セレクトレバーを+（アップ）側に動かします。
- ・シフトポジションダウン：
セレクトレバーを-（ダウン）側に動かします。



■解除のしかた

- セレクトレバーをマニュアルシフトゲートからメインゲートに戻します。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作が無くギヤチェンジを自動化してあるため、運転操作が簡単になります。オートマチック車特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を十分理解して、正しく操作する習慣をつけてください。

■発進のしかた 通常の発進

- ①ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを動かします。
前進するときは**D**、又はマニュアルシフトゲートに入れます。
- ・後退するときは**R**に入れます。
- ・セレクトレバー位置を、目で確認してください。

⚠ 警告

- 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままのセレクトレバー操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- セレクトレバーが**P**、**N**以外にあると、クリープ現象で車が動き出します。ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

- ②パーキングブレーキを解除します。
- ③ブレーキペダルを徐々にゆるめたあと、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

急な上り坂での発進

- ①セレクトレバーの位置を、目で確認します。
- ②パーキングブレーキをかけたまま、ブレーキペダルを徐々にゆるめます。
- ③アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認します。
- ④パーキングブレーキを解除し、発進します。

📖 知識

- 急な上り坂で発進するとき、ヒルスタートアシスト (ⓄP.176) が作動します。

■走行のしかた

⚠ 注意

- 走行中はセレクトレバーを**N**にしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

通常の走行

- セレクトレバーを**D**に入れたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速、減速を行います。アクセルペダルの踏みかげんと走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。

急加速したいとき

- アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンし急加速します。

上り坂の走行

- 速度が下がってきたら、セレクトレバーは**D**のままアクセルペダルを踏み込みます。坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わり、低速ギヤを保持します。
- アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンすることがあります。
- 自動変速の回数が多いときは、坂の勾配に応じてマニュアルモード（**OP.162**）に入れると、変速回数が少ない、なめらかな走行ができます。

🚗 アドバイス

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。坂道で停車するときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。

📖 知識

- 極端に低車速で走行すると、車速がわずかに変化する場合がありますがシステム特有の動きで異常ではありません。

下り坂の走行

- エンジンブレーキを併用して走行します。
- セレクトレバーが**D**のときブレーキペダルを踏むと坂の勾配に応じてシフトダウンし、エンジンブレーキが効きやすい状態にします。
 - 坂の勾配に応じて、マニュアルモード（**OP.162**）に入れます。強いエンジンブレーキが必要な場合は、マニュアルモードの2速又は1速にします。
 - 勾配のゆるい下り坂では、マニュアルモードの4速又は3速にすると、軽いエンジンブレーキが得られます。

警告

- セレクトレバーがDのとき、低速ギヤを保持してエンジブレーキが効きやすい状態に制御しますが、スピードが出すぎるときは坂の勾配に応じてマニュアルモードに入れてください。フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。
- 走行開始直後でトランスミッションの油温が暖まっていないときや、アクセルペダルを深く踏み込んだ高負荷な状態で長く走り続けると低速ギヤを保持しない場合があります。その場合には、坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れてください。
- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあります。
- リチウムイオンバッテリーの充電状態によっては、減速度合いが小さくなる場合があります。

■停車のしかた

- セレクトレバーはDのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みま
- 上り坂では、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車時間が長くなるときは、セレクトレバーをNに入れます。

警告

- 停車中の空吹かしはしないでください。万一、セレクトレバーがP、N以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、セレクトレバーの位置を、目で確認してください。

アドバイス

- 上り坂ではクリーブ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。坂道で停車するときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。

■駐車のしかた

- ①車を完全に停止させます。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
- ③セレクトレバーをPに入れ、目で確認します。
 - ・セレクトレバーをPに入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。
- ④電源ポジションをOFFにします。

⚠ 注意

- 車から離れるときは、必ずセレクトレバーをPに入れ、ハイブリッドシステムを停止してください。ハイブリッドシステムが作動したままで、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■そのほかに気をつけること

⚠ 警告

- 坂道などでセレクトレバーをD、マニュアルシフトゲートに入れたまま惰性での後退をしたり、Rに入れたまま惰性での前進をしないでください。故障の原因や思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

- 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

- 後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違えるおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。
- 少し後退したときなどは、セレクトレバーをRに入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐセレクトレバーをNに戻す習慣をつけてください。

ドライブモードセレクター

ドライブモードセレクターは4通りのドライブモード（STANDARD、SPORT、ECO、SNOW）を備え、モードを選択することにより、エンジンやモーター、トランスミッションなどが各モードに適した特性で制御するシステムです。

■ドライブモードの働き

ドライブモード	特徴	推奨する使用環境
STANDARD (●)	幅広い走行環境に適したドライブモード	通常走行時 ※1
SPORT ※2	レスポンスが良い特性のドライブモード	登坂時やワインディングなどで、スポーティーな走行をしたいとき
ECO ○ECOペダル*…P.239 ○モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。	おだやかな特性のドライブモード	燃費を考慮したおだやかな走行をしたいとき ※3、4
SNOW	滑りやすい路面環境に適したドライブモード	雪道やぬかるみなどの滑りやすい路面を走行するとき

- ※1 通常時はSTANDARDで走行することをおすすめします。
- ※2 SPORTに入れたままだと燃費が悪化することがあります。
- ※3 運転のしかたによっては必ずしも燃費が向上するわけではありません。
- ※4 燃費向上に適したドライブモードのため、加速力が低下することがあります。

モードセレクター

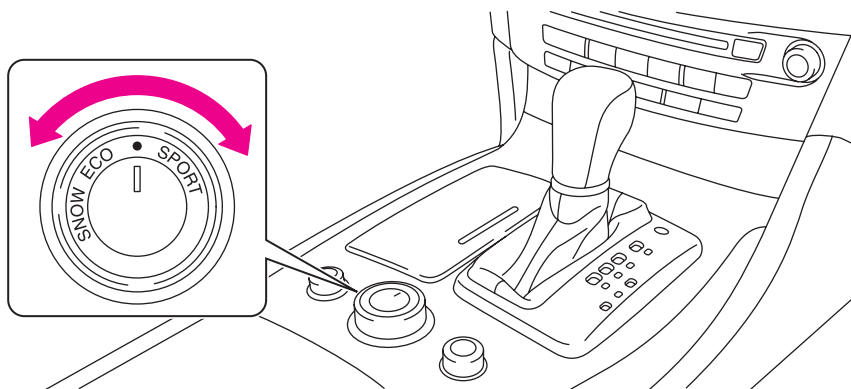
■モードの切り替えかた

ハイブリッドシステム作動中にスイッチを回して切り替えます。

モードを切り替えると、車両情報ディスプレイ (Q.100) に切り替わったモードが約2秒間表示されます。

(ドライブモードがECOで走行しているときは、メーター内のECOドライブインジケータが点灯します。)

- 走行状態によってはモードがすぐに切り替わらないことがあります。



ZPA0401

目次

警告

走行する前に

走行するだけ



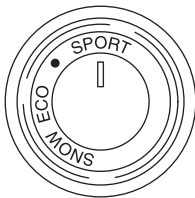


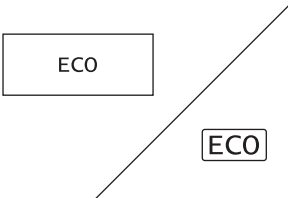
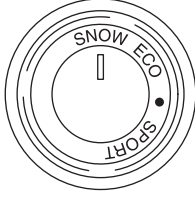

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあいかた

万のとき

サービスデータ

さくいん

■各モードでのスイッチ位置とディスプレイ表示

ドライブモード	スイッチ位置	車両情報ディスプレイ/メーター内表示灯
STANDARD	 <p>ZPA0403</p>	 <p>ZPA0404</p>
SPORT	 <p>ZPA0405</p>	 <p>ZPA0406</p>
ECO ○ECOペダル*... P.239 ○モニターの項目 の選択方法につ いては、ナビ ゲーションシス テム取扱説明書 「基本的な操作 のしかた」をお 読みください。	 <p>ZPA0407</p>	 <p>ZPA0408</p>
SNOW	 <p>ZPA0409</p>	 <p>ZPA0410</p>

■ECOドライブインジケーター

メーター内にあります。

ドライブモードセレクターでドライブモードをECOにしたときに、点灯・点滅します。

アクセルペダルの操作に応じて表示灯の点灯・点滅や表示色を変えることで、エコドライブをサポートします。

表示灯	説明
 <p>ZPA0411 (緑色点灯)</p>	<p>エコ運転領域内のときに緑色点灯します。</p>
 <p>ZPA0412 (緑色点滅)</p>	<p>エコ運転領域を越えそうなとき、緑色点滅します。</p>
 <p>ZPA0411 (オレンジ色点灯)</p>	<p>エコ運転領域を越えたときに緑色点滅からオレンジ色点灯に変わります。</p>

知識

以下の場合には、ECOドライブインジケーターが作動しません。

- ・セレクトレバーがRのとき。
- ・低車速又は高車速のとき。
- ・インテリジェントクルーズコントロール*が作動しているとき。

VDC (ビークルダイナミクスコントロール)

走行中、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのときには、車両が横滑りや尻振りを起こすことがあります。

VDCは横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーが判別し、ブレーキ制御及びエンジンとモーターの出力を制御をすることにより走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

- VDCが実際に作動しているとき、メーター内のVDC警告灯が点滅します。
- VDCシステム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯が点滅します。
- VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

○VDC警告灯…P.130

⚠ 注意

- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やコーナーの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。
- 下記部品を純正品以外に交換したり、改造したときにVDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
 - ・ サスペンション関係部品 (ショックアブソーバー、ストラット、スプリング、ブッシュ類など)
 - ・ タイヤ、ホイール (指定サイズ以外)
 - ・ ブレーキ関係部品 (パッド、ローター、キャリパーなど)
 - ・ エンジン関係部品 (マフラー、ECM [エンジンコントロールモジュール] など)
 - ・ 車体補強関係部品 (ロールバー、タワーバーなど)
- サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗及び劣化した状態で走行すると、VDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
- 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動くものの上に車があるとき、VDC警告灯が点灯することがあります。この場合はターンテーブルなど動くものの上から降りてからハイブリッドシステムを始動し直してください。

⚠ 注意

- 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行するとVDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがありますので、そのような路面を走行しないでください。
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

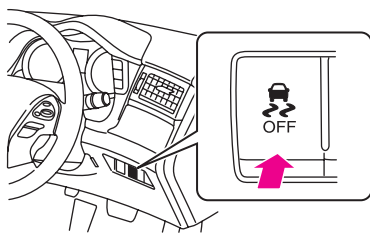
📖 知識

- VDCには「ブレーキLSD」機能があります。これは、滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保するLSD（リミテッドスリップデフ）機能です。作動時は、ブレーキの作動により音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

■VDC OFFスイッチの使いかた

VDCの作動をやめたいときに使います。

- VDC OFFスイッチを押すと、VDCの働きを停止します。
（メーター内の表示灯が点灯）
- もう一度スイッチを押すか、ハイブリッドシステムを再始動するとVDCは作動を回復し、表示灯が消灯します。



ZPA0413

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するしだい

室内装備の
使いかたつ車との
あ上手な万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

アドバイス

- VDCが作動すると発進時や加速時に車体及びペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- ぬかるみや新雪から脱出するときなどは、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもハイブリッドシステムの出力が上がらないことがあります。このようなときは、VDC OFFスイッチを押してシステムをOFFにしてください。
- VDC OFFスイッチを押すと、ABS機能及びブレーキLSD機能を除くVDCのすべての機能（トラクションコントロールを含む）が停止します。

知識

- 電源ポジションをONにしたときや、ハイブリッドシステム始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

アクティブスタビリティアシスト

注意

- アクティブスタビリティアシストは、すべての走行環境において効果があるわけではないため、機能を過信せず安全運転に心がけてください。

コーナリングスタビリティアシスト機能*

山道や高速道路のカーブで、運転者のハンドル操作やブレーキ操作に応じて、4輪それぞれのブレーキ制御及びエンジンとモーターのトルクを調整することによって、車両の動きをより滑らかにすると同時に、応答性を高めるなどして、安定感のあるコーナリングを実現します。

- ドライブモードセレクターでドライブモードをSPORTに設定すると、STANDARDに対し、各輪のブレーキ制御特性を変更することにより、運転者が挙動をコントロールする領域が広がります。
- VDC OFFスイッチを押すと、コーナリングスタビリティアシストの機能は停止します。

ブレーキ効き感向上機能

走行状態に応じて、運転者のブレーキ踏力に対する制動力を補正することによって、運転者の意思を反映するように『効きが良い』と感じられるブレーキ効き感を得ることができます。

左右制動力配分機能

ブレーキ操作時、カーブの大きさに応じて各車輪の制動力配分を制御することで、しっかりしたブレーキをかけることができます。

回生協調ブレーキ

セレクトレバーがD又はマニュアルシフトゲートで走行中にブレーキペダルを踏んでも回生ブレーキによる制動力が十分に得られないときは、摩擦ブレーキを制御することにより制動力を発生させます。

知識

- 以下の場合には回生協調ブレーキが作動しません。
 - ・ハイブリッドシステム又はブレーキシステムに異常があるとき。
 - ・ABS又はVDCが作動しているとき。

○P.12の「回生ブレーキ」も合わせてお読みください。

目次

警告

走行する前に

走行する上

使室内装備の

つ車との上か手な

万のとき

サービスデータ

さくいん

ヒルスタートアシスト

急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を抑制し、発進を容易にするシステムです。

- セレクトレバーが**P**、**N**以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。

注意

- この装置は上り坂での発進を補助するものですが、機能を過信しないでください。凍結した坂や泥状の上り坂での発進はとくに安全運転に心がけてください。
- この装置はブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。停車するときはブレーキペダルを踏み続けてください。駐車するときは確実にセレクトレバーを**P**に入れ、パーキングブレーキをかけてください。

アドバイス

- セレクトレバーを動かした直後は、ブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。
セレクトレバーを**P**から**D**又は**N**から**D**に動かした直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。

知識

- ヒルスタートアシストが作動しないときは、ブレーキシステム警告灯（黄色表示）（**OP**:127）、VDC警告灯（**OP**:130）のいずれかが点灯します。

車両接近通報装置（VSPシステム）

歩行者の車両接近に対する認識を向上するためにモーター走行時に車両接近通報音を発し、車外の人に車両の接近を知らせるシステムです。

通常はONにしてください。

■システムの作動

車速に応じて音の高さを変え、車両の加速または減速などの走行状態を表現します。

- 以下の場合でエンジンが停止しているときに、音を発します。
 - ・発進から車速30km/hまでの加速をしているとき。
 - ・減速して車速25km/h以下になったとき。
 - ・セレクトレバーを**R**にしたとき。

■車両接近通報音（VSP）一時停止スイッチの使いかた

- VSP一時停止スイッチを押すと、システムが一時停止状態になります。
（メーター内のVSP一時停止インジケーターが点灯）
 - もう一度VSP一時停止スイッチを押すと、システムが作動状態になります。
（メーター内のVSP一時停止インジケーターが消灯）
- 車両接近通報音（VSP）一時停止インジケーター…P.122



ZPA0795


⚠ 注意

- 周囲に音を出して注意を知らせる必要が明らかでない以下のような特別な場合を除いては、VSP一時停止スイッチを使用しないでください。
 - ・高速道路で渋滞しているとき。
 - ・早朝や夜遅い時間に住宅街を走行するとき。

📖 知識

- VSPシステムは、一旦電源ポジションをOFFにし、再度ONにすると一時停止状態が自動的に解除されます。

LDP（車線逸脱防止支援システム）*

車速が約70km/h以上で走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたときに、警報とともにVDC（P.172）の機能を用いてブレーキを制御し、車両の向きを変える方向に制御力を短時間発生させ、運転者が自車を車線内に戻す操作を促すシステムです。

※レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

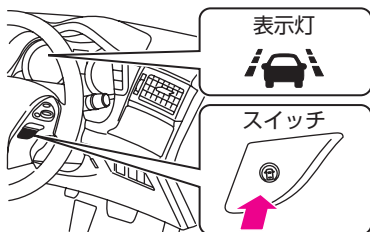
注意

- LDP（車線逸脱防止支援システム）は車線からの逸脱を自動的に回避したり、車線内での走行を自動的に維持するシステムではありません。
- LDP（車線逸脱防止支援システム）には限界がありますので、機能を過信しないでください。
脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。
- LDP（車線逸脱防止支援システム）を使用するときは、急なハンドル操作を避けてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。またLDP（車線逸脱防止支援システム）を使用しないときはシステムをOFFにしてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、システムを使用しないでください。
 - ・ 悪天候（雨、霧、雪、風など）のとき。
 - ・ 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき。
 - ・ 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき。
 - ・ 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき。
 - ・ 車線の幅が狭い道路を走行するとき。
 - ・ 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、純正品以外のタイヤを使用しているとき。
 - ・ 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき。
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - ・ 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき。
 - ・ 急なカーブのある道路を走行するとき。
 - ・ 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき。
 - ・ 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき。（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報したり、制御する場合があります。）
 - ・ 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき。
 - ・ 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき。
 - ・ 先行車との車間距離が短く、車線認識カメラの検出範囲が遮られるとき。
 - ・ 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき。
 - ・ 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき。
 - ・ 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき。
 - ・ 急な明るさの変化が起こったとき。（トンネルの出入り口など。）
- 状況によっては外部の騒音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■使いかた

- ①スイッチを押して、システムをONにします。
(メーター内の表示灯が緑色に点灯します。)



ZPA0420

- ②車速が約70km/h以上になると、作動を開始します。

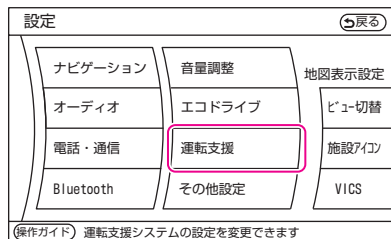
知識

- ステアリングにあるスイッチを押すと、LDP (車線逸脱防止支援システム) とインテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) (OP222) のON/OFFを同時に切り替えることができます。
 - 以下の操作をすると、ステアリングにあるスイッチを押したときに使用するシステムを設定することができます。
 - モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。
- ①ナビゲーションシステムの「設定」スイッチを押します。



ZPA0020

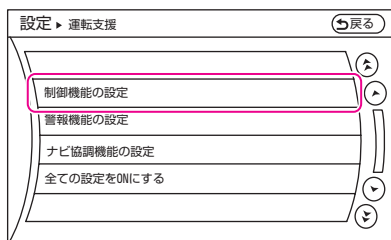
- ②「運転支援」を選択します。



ZPA0952

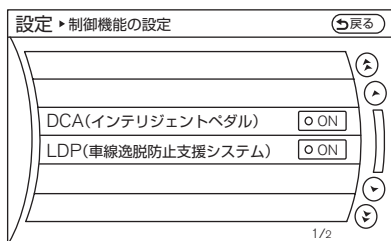
知識

③ **（制御機能の設定）** を選択します。



ZPA0947

④ ステアリングにあるスイッチを押したときに使用したいシステムをONに設定します。



ZPA0504

- **（LDP（車線逸脱防止支援システム））** の設定がOFFになっているときは、ステアリングにあるスイッチを押してもLDP（車線逸脱防止支援システム）を作動させることができません。
- **（制御機能の設定）** の中の項目がすべてOFFに設定されているときに、ステアリングにあるスイッチを押すとメーター内のLDP（車線逸脱防止支援システム）表示灯とインテリジェントペダル（ディスプレイスタンスコントロールアシスト）表示灯が点滅し、作動しないことをお知らせします。
- **（全ての設定をONにする）** を選択すると、**（運転支援）** で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビゲーションシステムのON/OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。
- ハイブリッドシステムを停止するとLDP（車線逸脱防止支援システム）は自動的にOFFになります。

■システムの作動

走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づくと、ブザー音、表示とともにブレーキ制御を行い、車両の向きを変える方向に制御力を短時間発生させ、自車を車線内に戻す操作を促します。（ブザーが“ポポポポ、ポポポポ…”と鳴り、メーター内の警告灯がオレンジ色に点滅します。）

●LDW（車線逸脱警告）…P.183



ZPA0357

📖 知識

- 以下の場合、警報もブレーキ制御も行いません。
 - ・ 方向指示器を使用しているとき。（方向指示器を解除した後、約2秒間は作動しません。）
 - ・ 車速が約70km/hを下回っているとき。
- 以下の場合、ブレーキ制御を行いません。
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいるとき。
 - ・ 車線変更に相当する程度に、ハンドル操作をしたとき。
 - ・ インテリジェントクルーズコントロール接近警報が鳴っているとき。
 - ・ FCW（前方車両接近警報）が作動しているとき。
 - ・ インテリジェントブレーキアシストが作動しているとき
 - ・ 非常点滅表示灯を作動させているとき。
 - ・ カーブ路でスピードを出して走行しているとき。
- ブレーキ制御しているときに、運転者がアクセルペダルを踏み増すと、ブレーキ制御を中止します。
- ブレーキ制御が作動したときに、音がすることがありますが、異常ではありません。

■ 警告表示



ZPA0357

- 次の場合は、“ポー”というブザー音とともにメーター内の警告灯が緑色に点滅し、自動的に作動が停止します。
 - ・ ドライブモードをSNOWにしたとき。
 - ・ ABS又はVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき。
 - ・ VDCをOFFにしたとき。
- 炎天下に駐車したときなど、車線認識カメラが高温になった場合は、メーター内の警告灯がオレンジ色に点滅し、自動的に作動が停止します。

➡ 処置

- LDP（車線逸脱防止支援システム）を再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、再びシステムをONにしてください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点滅し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

目次

⚠️ 警告

走行する前に

走行するだけ

室内装備の
使いかたつ車と
の上手な
あいかた

万のとき

サービステータ

さくいん

- LDP（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、“ポー”というブザー音とともにメーター内の警告灯がオレンジ色に点灯し、自動的に作動が停止します。

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度ハイブリッドシステムを停止してから、再びLDP（車線逸脱防止支援システム）をONにしてください。

👉 アドバイス

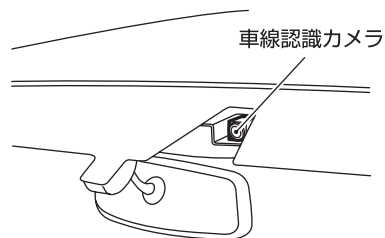
- 上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点滅し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■ 車線認識カメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- ルームミラー上方に装着されている車線認識カメラ周辺部のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
- 車線認識カメラ周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けしないでください。
- インストルメントパネル上に鏡などの光を反射しやすいものや白い紙などを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響がでるおそれがあります。
- 車線認識カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。また、レンズに触れたり、車線認識カメラを固定しているネジを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。

事故などで車線認識カメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。



LDW（車線逸脱警報）*

車速が約70km/h以上で走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたときに、警報によって運転者に注意を促します。

※レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

 注意

- LDW（車線逸脱警報）には限界がありますので、機能を過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

 注意

- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - ・ 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき。
 - ・ 急なカーブのある道路を走行するとき。
 - ・ 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき。
 - ・ 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき。（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります。）
 - ・ 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき。
 - ・ 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき。
 - ・ 先行車との車間距離が短く、車線認識カメラの検出範囲が遮られるとき。
 - ・ 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき。
 - ・ 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき。
 - ・ 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき。
 - ・ 急な明るさの変化が起こったとき。（トンネルの出入り口など。）
- 状況によっては外部の騒音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

目次

 警告

走行する前に

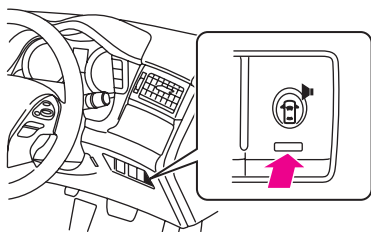
走行するしじめ

室内装備の
使いかた車と
つきあ
い上手
な万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

■使いかた

- スイッチを押すごとにON/OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON/OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF



ZPA0421

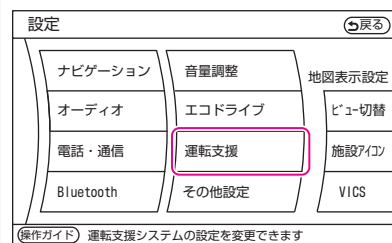
知識

- スイッチを押すとFCW（前方車両接近警報）も同時にON/OFFします。
 - 以下の操作をすると、スイッチを押したときに使用するシステムを設定することができます。
 - モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。
- ①ナビゲーションシステムの**設定**スイッチを押します。



ZPA0020

- ②**運転支援**を選択します。

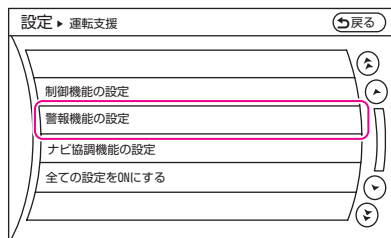


(操作ガイド) 運転支援システムの設定を変更できます

ZPA0952

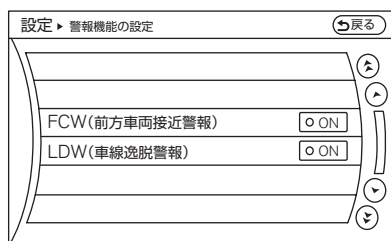
 知識

- ③「**警報機能の設定**」を選択します。



ZPA0948

- ④スイッチを押したときに使用したいシステムをONに設定します。



ZPA0949

- 「**LDW（車線逸脱警報）**」の設定がOFFになっているときは、スイッチを押してもLDW（車線逸脱警報）を作動させることができません。
- 「**警報機能の設定**」の中の項目がすべてOFFに設定されているときに、スイッチを押すとスイッチの表示灯が点滅し、作動しないことをお知らせします。
- 「**全ての設定をONにする**」を選択すると、「**運転支援**」で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビゲーションシステムのON/OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。

 知識

- 炎天下に駐車したときなど、車線認識カメラが高温になったときは、メーター内の警告灯がオレンジ色に点滅し、一時的に作動が停止します。（車内の温度が下がると、自動的に作動が復帰します。）



ZPA0357

■システムの作動

- 走行車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたときに、警報によって運転者に注意を促します。
（ブザーが“ポポポポ、ポポポポ…”と鳴り、メーター内の表示灯がオレンジ色に点滅します。



ZPA0357



知識

- 以下の場合、警報を行いません。
 - ・ 方向指示器を使用しているとき。（方向指示器を解除した後、約2秒間は作動しません。）
 - ・ 車速が約70km/h以下を下回っているとき。

■警告表示

- LDW（車線逸脱警報）に異常があると、メーター内の警告灯がオレンジ色に点灯し、自動的に作動が停止します。



ZPA0359

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をして表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■車線認識カメラの取り扱い

- OP.182をお読みください。

クルーズコントロール*

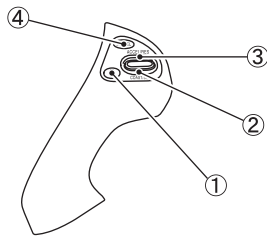
クルーズコントロールをセットするとアクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。

約40～100km/hの間で任意の速度にセットできます。

⚠ 注意

- 車間制御は行わないため、ブレーキ操作制御や警報は行われません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので使わないでください。
 - ・ 交通量の多い道や急カーブのある道
交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
 - ・ 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - ・ 急な下り坂
急な下り坂ではエンジンプレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ステアリングスイッチ



ZPA0414

①メインスイッチ

- ・ クルーズコントロールのON・OFFができます。

②セット/コーストスイッチ（下押し）

- ・ クルーズコントロールのセットができます。
- ・ 設定車速を下げるすることができます。

③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）

- ・ クルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
- ・ 設定車速を上げることができます。

④キャンセルスイッチ

- ・ クルーズコントロールの解除ができます。

目次

⚠ 警告

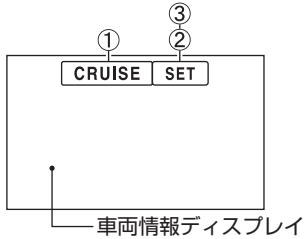
走行する前に

走行中の操作

室内装備の
使いかた車と
あの手な
つきあ万
一の
ときサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

■表示灯・警告灯

メーター内の車両情報ディスプレイに表示されます。



ZPA0919

①クルーズ表示灯

- ・クルーズコントロールのメインスイッチをONにすると点灯します。

②セット表示灯

- ・クルーズコントロール作動中に点灯します。

③セット警告灯

- ・次のようなときに点滅します。
 - ・セットの手順を正しく行わなかったとき。
 - ・クルーズコントロールシステムに異常があるとき。

➡ 処置

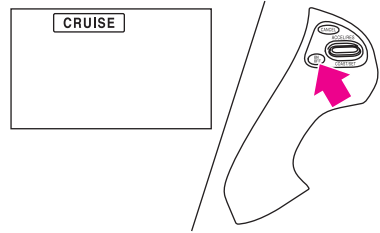
- ・安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから再度セット操作をしてください。

🚗 アドバイス

- ・上記の操作をしても点滅し続ける又はセットできない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

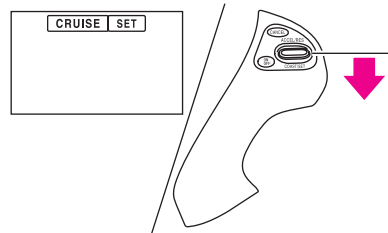
■セットのしかた

- ①メインスイッチを押し、クルーズ表示灯が点灯したことを目で確認します。



ZPA0415

- ②設定したい速度まで加速又は減速し、セット/コーストスイッチを押します。
 - ・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。(セット表示灯が点灯)



ZPA0416

⚠️ 注意

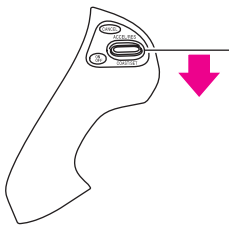
- ・クルーズコントロールを使わないときは、メインスイッチをOFFにしてください。間違ってもハンドルのスイッチを押すとクルーズコントロールがセットされ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■設定車速の換えかた

定速走行中に次の操作をします。

ペダルで変えるとき

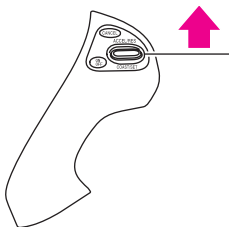
- ①アクセルペダル又はブレーキペダルを踏み、速度を変えます。
- ②希望の速度になったら、セット/コーストスイッチを押します。



ZPA0417

ステアリングスイッチで変えるとき**設定車速を上げたいとき**

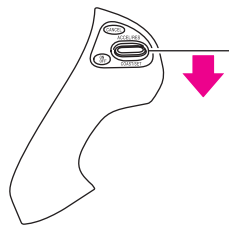
- ①リジューム/アクセラレートスイッチを押し続けると加速します。
- ②希望の速度になったら、手を離します。



ZPA0418

設定車速を下げたいとき

- ①セット/コーストスイッチを押し続けると減速します。
- ②希望の速度になったら、手を離します。



ZPA0417

一時的に加速、減速をしたいとき**加速したいとき**

- アクセルペダルを踏むと、加速します。

減速したいとき

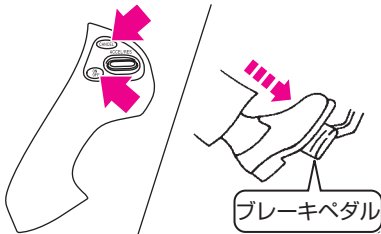
- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御を解除）します。
（セット表示灯が消灯し、セット待機状態になります。）

もう一度、定速走行に戻りたいとき

解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチを押します。
（セット表示灯が再び点灯）

■解除のしかた

- 次の操作でクルーズコントロール機能が解除されます。
 - ・ キャンセルスイッチを押す。
 - ・ メインスイッチを押す。
 - ・ ブレーキペダルを踏む。



ZPA0419

📖 知識

- キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。
- 次の場合はクルーズコントロールが自動的に解除されます。
 - ・ 車速が約30km/h以下になったとき。
 - ・ 設定車速より約13km/h以上車速が低下したとき。
 - ・ VDCが作動したとき。
 - ・ タイヤが空転したとき。
 - ・ セレクトレバーを \square に入れたとき。
 - ・ クルーズコントロールシステムに異常があるとき。

📖 知識

- クルーズコントロールシステムに異常があると、セット警告灯が点滅します。

インテリジェントクルーズコントロール*

インテリジェントクルーズコントロールには、以下のような機能があります。

- 先行車を検出していない場合は、運転者がセットした車速で定速走行します。
 - 先行車を検出している場合は、先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行います。
- 詳しくは、P.192をお読みください。

ナビ協調機能

- ナビゲーションシステムからの情報をもとに、運転者がセットした車速を上限として、前方のカーブの大きさに応じた車速で走行できるように車速制御を行います。
- 詳しくは、P.208をお読みください。

定速制御機能

- 運転者がセットした車速（約40km/h～100km/h）で定速走行します。（車間距離の制御は、行いません。）
- 詳しくは、P.213をお読みください。

⚠ 注意


- 機能によって制御内容が異なります。
- インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、どの機能が選択されているかを車両情報ディスプレイで必ず確認してください。



ZPA0423

インテリジェントクルーズコントロール

先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行することができます。

セレクトレバーが又はマニュアルモードのときに以下の制御を行います。

- 先行車を検出していないときは、運転者がセットした車速（約32km/h～100km/h）で定速走行します。
- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速（約32km/h～100km/h）を上限として、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。

また、先行車両が停止したときには、自車もそれに応じて停止します。

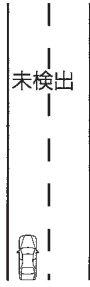
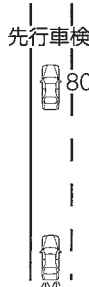
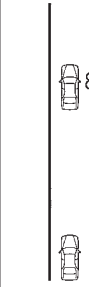

（停止後はシステムが自動的に解除されます。）

- 先行車を検出しなくなったときは、セットした速度までゆっくりと加速し、定速走行を行います。

なお、車速が約24km/hを下回っている場合は、システムが自動的に解除されます。

注意

- インテリジェントクルーズコントロールは高速道路や自動車専用道路でご使用ください。
- インテリジェントクルーズコントロールにより停止までブレーキ制御を行いますが、停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリープ現象によりゆっくりと車両が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。（先行車との車間距離が短いときや下り坂で追従走行しているときなど、状況により停止できない場合もあります。）

走行状況	定速走行	減速走行	追従走行	加速走行
	先行車を検出していないとき	設定した車速より遅い先行車を検出されたとき	設定した車速より遅い先行車に追従するとき	設定した車速より遅い先行車を検出しなくなったとき
例	100km/hに設定  未検出 TSA1598Z 100km/h (設定車速)	100km/hで定速走行時に、80km/hの先行車を検出したとき  先行車検出 80km/h TSA1599Z 100km/h →80km/h	100km/hに設定しているときに、80km/hの先行車がいるとき  80km/h TSA1600Z 80km/h	100km/hに設定しているときに、80km/hの先行車を検出しなくなったとき  80km/h TSA1601Z 80km/h →100km/h (設定車速)

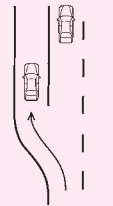
注意

- インテリジェントクルーズコントロールには限界がありますので、機能を過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- インテリジェントクルーズコントロールの減速能力には限界がありますので、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあります。この場合は、ブザー音及び表示による警報で注意を促します。

⚠ 注意

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェントクルーズコントロールを使わないでください。
- **交通量の多い道や急カーブのある道**
道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
- **凍結路や積雪路など滑りやすい路面**
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
- **悪天候（雨、霧、雪など）のとき**
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。ワイパーを高速（HI）で作動させるとインテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。（ワイパースイッチがAUTO位置でワイパーが高速で作動しているときを含む）
- **前方からの強い光（太陽光など）を受けたとき**
先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
- **センサー部に雨滴、雪などが付着しているとき**
先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
- **急な下り坂**
先行車を検出していない場合はインテリジェントクルーズコントロールの制御によるブレーキ操作を行わないため、セットした車速を超えてしまうおそれがあります。
また、先行車を検出していて追従走行している場合には、ブレーキが過熱してしまうおそれがあります。

- **急な上り坂、下り坂が繰り返される道**
先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき**
交通状況にあった速度で走行できないため、事故につながるおそれがあります。
- 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でインテリジェントクルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車又は先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで自動的に加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

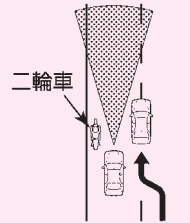


TSA1602Z

⚠ 注意

- 停止中の車両や自車速より極端に遅い車両に対しては、インテリジェントクルーズコントロールによる制御も接近警報も行いません。料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や極端に速度の遅い車両などには十分注意してください。
- 急な割り込み車両や、歩行者などの車両以外のものに対しては、制御又は接近警報を行いません。
- この機能は先行車のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には、先行車を正確に検出できず、車間距離が適切に保てなくなる場合があります。周囲の状況に十分注意し、必要に応じてブレーキ操作をしてください。
 - ・ 先行車のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき
 - ・ 先行車の後部が著しく汚れているとき
 - ・ 先行車や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき
 - ・ 先行車や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどい場合や、走行道路周辺で煙が発生して前方の視界が十分に見通せないとき
 - ・ 先行車がリフレクター部にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき
 - ・ 後席やトランクに極端に重い荷物を積んだとき
 - ・ 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき

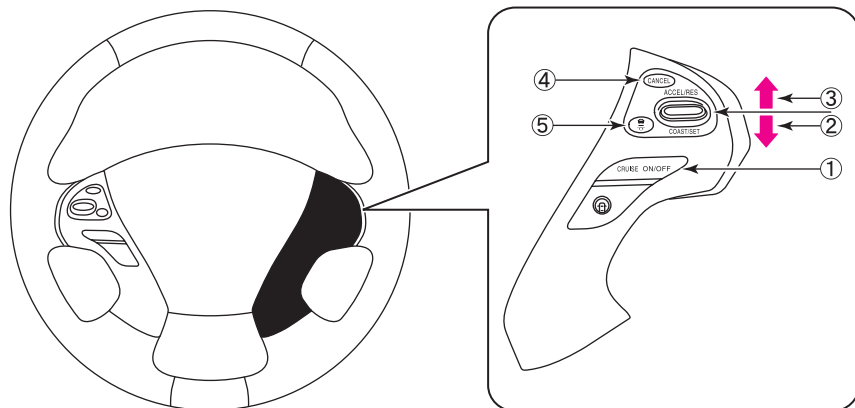
- 近距離ではセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、車間距離が適切に保てない場合があります。



ESA1691Z

- センサーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、車間距離が適切に保てなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、センサー部はいつもきれいにしておいてください。なお、汚れを判定した場合は、インテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に先行車を検出できなくなったり、隣の車線の車両や周辺のものを検出して制御したり、警報が作動する場合があります。また、一時的に先行車を検出できず、先行車に近づく場合があります。

■ステアリングスイッチ（インテリジェントクルーズコントロール）



ZPA0424

①メインスイッチ

インテリジェントクルーズコントロールのON・OFFができます。

②セット/コーストスイッチ（下押し）

- ・インテリジェントクルーズコントロールのセットができます。
- ・設定車速を下げるができます。

③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）

- ・インテリジェントクルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
- ・設定車速を上げるができます。

④キャンセルスイッチ

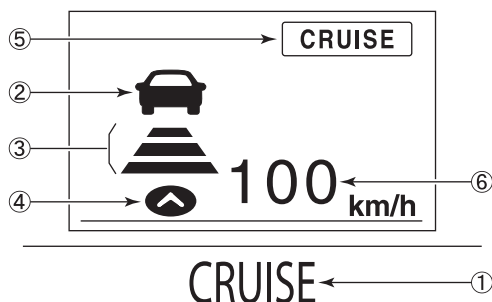
- ・インテリジェントクルーズコントロールの解除ができます。

⑤車間設定スイッチ

- ・車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

■表示灯・警告灯・車両情報ディスプレイ

車両情報ディスプレイはメーター内にあります。



ZPA0425

①インテリジェントクルーズコントロール警告灯（オレンジ）

インテリジェントクルーズコントロールのシステムに異常があることをお知らせします。

②先行車検出表示

先行車検出の有無をお知らせします。

③車間設定表示

車間設定スイッチで設定した車間設定を表示します。

④自車マーク

⑤クルーズ表示灯

メインスイッチがONになっていることをお知らせします。

⑥設定車速表示

設定した車速を表示します。

目次

警告

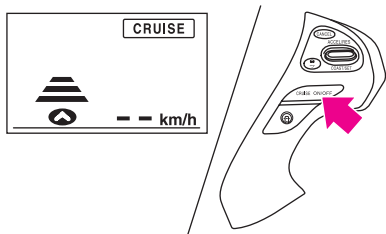
走行する前に

走行するだけ

室内装備の
使いかた車との
つきあいの
上手な万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

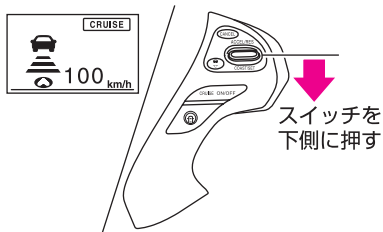
■セットのしかた

- ①メインスイッチを押してインテリジェントクルーズコントロールをONにします。(1.5秒未満押し)
(クルーズ表示灯、車間設定表示、設定車速表示が点灯し、セット待ち機状態になります。)



ZPA0426

- ②設定したい車速まで加速又は減速します。
- ③セット/コーストスイッチ側に押しします。
- ・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
 - ・車速が約32km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定車速は32km/hになります。
(先行車検出の有無、車間設定、設定車速が表示)



ZPA0427

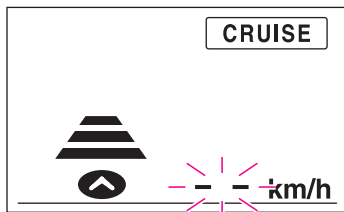
- ④制御を開始します。

⚠ 注意

- ・インテリジェントクルーズコントロールを使用しないときは、メインスイッチをOFFにしてください。
間違えてスイッチを押してしまった場合、インテリジェントクルーズコントロールがセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- ・以下の場合には車両情報ディスプレイが約2秒間点滅し、セットすることができません。
 - ・車速が約32km/hを下回っていて、先行車を検出していないとき。
 - ・セレクトレバーがD又はマニュアルモード以外するとき。
 - ・ワイパーを高速(HI)で作動させているとき。(ワイパースイッチがAUTO位置でワイパーが高速で作動しているときを含む)
 - ・パーキングブレーキがかかっているとき。
 - ・ブレーキを踏んでいるとき。
 - ・前方から強い光(太陽光など)を受けているとき。

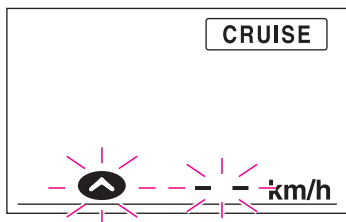


ZPA0428



知識

- 以下の場合には“ピー”というブザー音とともに、車両情報ディスプレイが点滅し、セッティングすることができません。
 - ・ドライブモードをSNOWにしているとき。
(インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、ドライブモードをSNOW以外のモードに変更したあと、メインスイッチを一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。)
 - ドライブモードセレクター…P.168
- ・VDCをOFFにしているとき。
(インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、VDCをONにしたあと、メインスイッチを一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。)
- VDC…P.172
- ・ABS又はVDC（トラクションコントロールを含む）が作動しているとき。
- ・タイヤが空転しているとき。
(インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、上記の状態が改善されてから、メインスイッチを一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。)



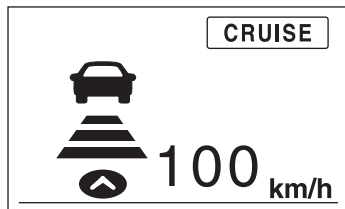
ZPA0429

- ハイブリッドシステムを停止するとインテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 車間設定はハイブリッドシステムを始動するたびに「長」に設定されます。「中」又は「短」に切り替えたいときは車間設定スイッチを操作します。
 - 車間距離設定の変えかた…P.202

■システムの作動

先行车を検出しているとき

運転者が設定した車間距離を保つように制御します。
(先行车検出表示が点灯)



ZPA0430



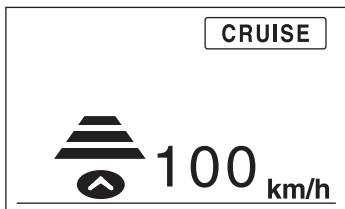
知識

- 設定車速（約32km/h～100km/h）を上限とする範囲で制御します。
- インテリジェントクルーズコントロールの制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

先行車を検出しなくなったとき

設定車速までゆっくりと加速し、定速走行します。

(先行車検出表示が消灯)



ZPA0431

知識

- 設定車速までの加速中に先行車を検出すると、再び車間制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 車速が約24km/hを下回ったときに、先行車を検出しなくなると自動的に制御を解除します。

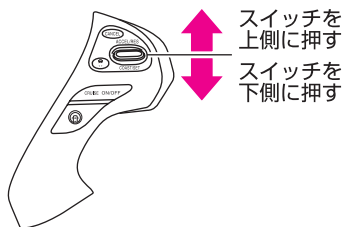
■設定車速の変えかた**⚠ 注意**

- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押して、設定車速を上げても加速しません。

しかしこのとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出なくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速は車両情報ディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

設定車速を変えたいとき

- 設定車速を上げたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側（上側）に押します。
- 設定車速を下げたいときは、セット/コースト側（下側）に押します。



ZPA0432

一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

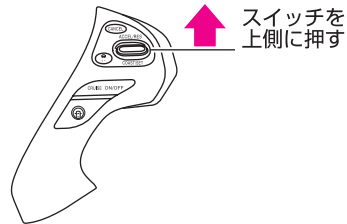
- アクセルペダルを踏むと、加速します。
アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

 **注意**

- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェントクルーズコントロールによるブレーキ操作も警戒も行いません。
インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）がONの場合、アクセルペダルを踏んでいるときはインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）が作動します。
●詳しくは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）…P.222をお読みください。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
（設定車速表示の車速値が消灯し、セット待機状態になります。）
- 解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押します。
（車両情報ディスプレイが再びセット状態の表示になります。）



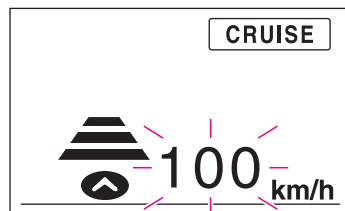
ZPA0433

 **注意**

- 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、又はブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

 **知識**

- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、セット/コーストスイッチで設定車速を下げた場合などで設定車速より実際の車速の方が高くなったときは、設定車速表示が点滅します。



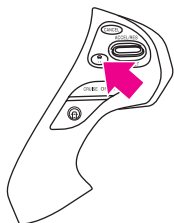
ZPA0434

- アクセルペダルを戻したあとに定速走行し、車速が設定車速となった場合や、車間制御で車速が設定車速以下となったときは、設定車速が点灯状態に戻ります。

■車間距離設定の変えかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。制御中又はセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

- 車間設定スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



ZPA0435

車間設定	ディスプレイ
長	<div style="text-align: center;"> <p>CRUISE</p> <p>100 km/h</p> <p>ZPA0436</p> </div>
中	<div style="text-align: center;"> <p>CRUISE</p> <p>100 km/h</p> <p>ZPA0437</p> </div>
短	<div style="text-align: center;"> <p>CRUISE</p> <p>100 km/h</p> <p>ZPA0438</p> </div>

🚗 アドバイス

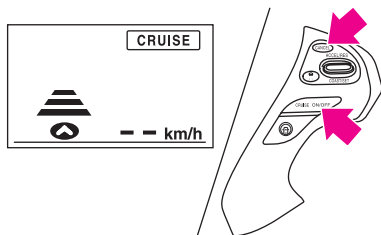
- ハイブリッドシステムを停止すると、車間設定は「長」に戻ります。
(ハイブリッドシステムを始動するたびに初期の車間設定は「長」になります。)

📖 知識

- 各制御は車速に応じて変わり、車速が高いほど長くなります。
- 車速100km/hで走行しているとき、車間設定での制御車間距離の目安は次のとおりです。
 - 長：約60m
 - 中：約50m
 - 短：約40m

■解除のしかた

- 次の操作でインテリジェントクルーズコントロールが解除されます。
 - ・ キャンセルスイッチを押す。
 - ・ メインスイッチを押す。
 - ・ ブレーキペダルを踏む。



ZPA0439

知識

- キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

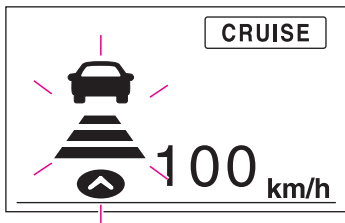
- 次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動的に解除されます。
 - ・ 先行車を検出していない場合に、車速が約24km/hを下回ったとき。
 - ・ インテリジェントクルーズコントロールにより自車が停止したとき。
 - ・ セレクトレバーをD又はマニュアルモード以外にしたとき。
 - ・ パーキングブレーキをかけたとき。
 - ・ ドライブモードをSNOWにしたとき。
 - ・ ワイパーを高速（HI）で作動させたとき。
(ワイパースイッチがAUTO位置でワイパーが高速で作動しているときを含む)
 - ・ ABS又はVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
 - ・ VDCをOFFにしたとき。
 - ・ 前方から強い光（太陽光など）を受けたとき。
 - ・ センサー部が汚れ、車間距離の測定が困難になったとき。
 - ・ タイヤが空転したとき。

■ 接近警報

車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーと車両情報ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

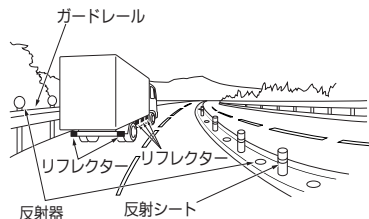
- 先行車に接近し、車間距離が十分でないかと判断されるときは
 - ・ ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
 - ・ 車両情報ディスプレイの先行車検出表示、車間設定表示が点滅します。



ZPA0440

⚠ 注意

- 警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、インテリジェントクルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には警報が作動しないことがあります。
 - ・ 先行車との相対速度が小さいとき。（ほぼ同じ速度で走っているとき）
 - ・ 先行車の方が自車より速いとき。（車間距離が次第に離れていくとき）
 - ・ 他車が至近距離に割り込んできたとき。
- 料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両に対しては警報が作動しません。
- 道路形状（カーブ路、カーブの入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や、自車及び周辺車両の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に隣車線の車両のリフレクターや、車道脇に設置されている反射器、反射シート、ガードレールの反射器などを検出して、接近警報が作動する場合があります。

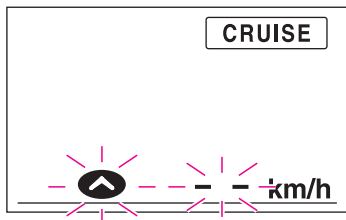


ESD0984Z

警告表示

● 次の場合は、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントクルーズコントロールが自動的に解除され、インテリジェントクルーズコントロール警告灯及び車両情報ディスプレイの一部が点灯又は点滅しセットできなくなります。

- ・ ABS又はVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
- ・ VDCをOFFにしたとき。
- ・ ドライブモードをSNOWにしたとき。
- ・ タイヤが空転したとき。
- ・ 前から強い光（太陽光など）を受けたとき。
⇒ 車両情報ディスプレイの一部が点滅します。



ZPA0429

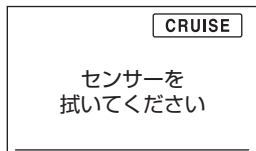
➡ 処置

- 制御が解除されたときの状態が改善されてから、メインスイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、再びセット操作を行ってください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

- ・センサー部が汚れ、先行車の検出が困難になったとき。



CRUISE

ZPA0442

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、汚れている部位を柔らかい布で清掃し、再度セット操作を行ってください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

- ・インテリジェントクルーズコントロールに異常があるとき。
⇒警告灯が点灯します。

CRUISE

ESA1445Z

➡ 処置

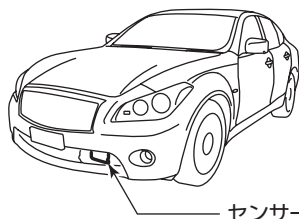
- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから再度セット操作を行ってください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■センサー部の取り扱い

- システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。
 - ・バンパー開口部に装着されているセンサー部はいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
センサー本体の窓部が著しく汚れた場合は、日産販売会社にご相談ください。
 - ・センサー及びセンサー部周辺に強い衝撃を与えないでください。また、センサーにある軸調整ネジ部に触れたり、分解したりしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでセンサー取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
 - ・センサー部周辺には、ステッカー（透明なものを含む）を貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。



センサー部

ZPA0981

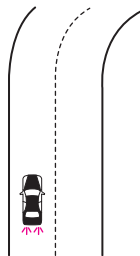
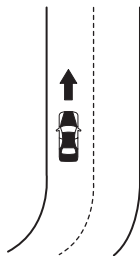
ナビ協調機能

- ナビゲーションシステムからの情報をもとに、運転者がセットした車速（約32km/h～100km/h）を上限として、前方のカーブの大きさに応じて自車の車速を制御することで、運転者の加速・減速操作を支援する機能です。具体的には以下の制御を行います。

- ・前方のカーブの大きさに応じて、緩やかに減速します。
- ・カーブ路を出て直線路になると、再びセット車速まで加速します。

作動条件

- ナビ協調機能は、以下の条件が全て満たされている場合に作動します。
 - ・ナビ協調機能がONのとき。
 - ・インテリジェントクルーズコントロールを使用して、定速走行しているとき。（先行車を検出していないとき）
 - ・ナビゲーションシステムによる目的地へのルートガイドを行っていて、そのルート上を走行しているとき。

走行状況	減速走行 カーブ路に近づいたとき	加速走行 カーブ路を出て直線路へ戻ったとき
例	 <p style="text-align: right;">ZPA0018</p> <p style="text-align: center;">前方のカーブに応じて減速</p>	 <p style="text-align: right;">ZPA0019</p> <p style="text-align: center;">セット車速まで加速</p>



注意

- ナビ協調機能は、高速道路や自動車専用道路でご使用ください。
- ナビ協調機能は、前方のカーブの大きさに応じて、システムの減速能力の範囲内で減速するものであり、カーブを自動的に走行したり、法定速度を遵守した走行を支援するものではありません。法定速度を守り、安全にカーブを走行するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。

 **注意**

- ナビ協調機能には限界があります。また、状況により作動しない場合がありますので、ナビ協調機能を過信しないでください。
脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。
周囲の状況に十分注意し、安全運転を心がけてください。
- ナビ協調機能の減速能力には限界があります。十分に減速できないとシステムが判断した場合は、ブザー及び表示による警報で注意を促します。
- ナビ協調機能の減速により車速が約24km/hを下回った場合、インテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。（ナビ協調機能による減速制御も解除されます。）
- この機能はナビゲーションシステムからのカーブ情報を利用しているため、ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えない状況や、ナビゲーションシステムの地図に無い道路を走行しているとき、車線規制や工事などで、ナビゲーションシステムの地図情報と実際の道路形状が異なっているときなどには、制御や警報のタイミングがずれたり、適切に制御や警報を行えない場合があります。周囲の状況に十分注意し、必要に応じてブレーキまたはアクセル操作を行って走行してください。
○詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書「知っておいただきたいこと」をお読みください。

目次

 警告

走行する前に

走行する時

室内装備の
使いかたつきあの上
かたな万
のときサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

■ ナビ協調機能のON・OFF設定

☑ モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

※ 車種により、画面表示が一部異なります。

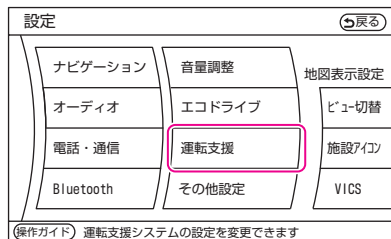
ON/OFFのしかた

① **設定** スイッチを押します。



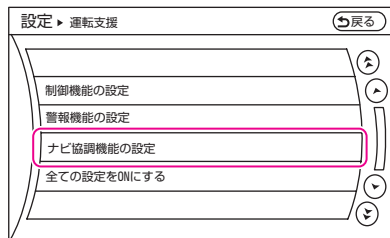
ZPA0020

② **運転支援** を選択します。



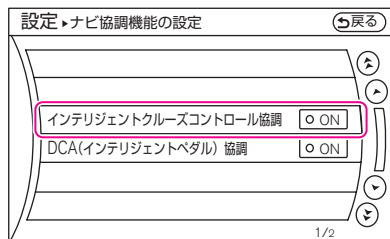
ZPA0952

③ **ナビ協調機能の設定** を選択します。



ZPA0950

④ **インテリジェントクルーズコントロール協調** を選択し、ON/OFFを選択します。



ZPA0444

⚠ 注意

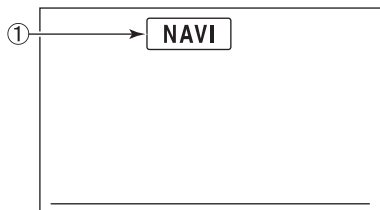
- ナビ協調機能を使用しないときは、設定をOFFにしてください。
- 設定をOFFにした場合、ナビ協調機能による制御も警報も行いません。
- ナビ協調機能を作動させたいときは、設定をONに戻してください。

📖 知識

- **全ての設定をONにする** を選択すると、**運転支援** で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビ協調機能のON・OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても、再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。

■車両情報ディスプレイ

車両情報ディスプレイはメーター内にあります。



ZPA0447

①ナビ協調機能表示

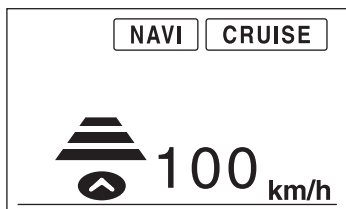
制御対象となるカーブを検出している場合、点灯します。

■ナビ協調機能の作動

制御対象となるカーブを検出しているとき

前方のカーブの大きさに応じて緩やかに減速します。

(ナビ協調機能表示が点灯します。)



ZPA0448

知識

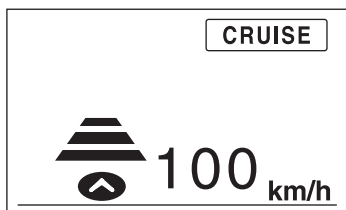
- ナビ協調機能の制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。

⚠ 注意

- ナビ協調機能は、ルートガイド中のルート上を走行している場合にのみ作動します。ルートガイドを開始していないときや、ガイド中のルートと異なる道路を走行している場合、ナビ協調機能は作動しません。
- ナビ協調機能作動中に先行車を検出した場合は、先行車に対する車間制御を優先するため、ナビ協調機能は作動しません。
(ナビ協調機能表示が消灯します。) 機能によって制御内容が異なりますので、作動中の機能を車両情報ディスプレイの表示で必ず確認してください。
- ナビ協調機能の減速により車速が約24km/hを下回った場合、インテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。(ナビ協調機能による減速制御も解除されます。)

制御対象となるカーブを検出しなくなったとき

カーブ路を出て直線路になると、再びセット車速までゆっくりと加速し、定速走行します。
(ナビ協調機能表示が消灯します。)



ZPA0449

知識

- 設定車速までの加速中に、減速対象となるカーブを新たに検出すると、再び減速制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、すばやく加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。

注意

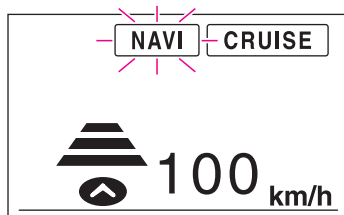
- アクセルペダルを踏んでいるときは、ナビ協調機能によるブレーキ制御も警報も行いません。

■警報及び警告表示

- ナビ協調機能により十分に減速できないとシステムが判断した場合は、次のようにブザーと車両情報ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。


この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車速で走行してください。

- ・ ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
- ・ 車両情報ディスプレイのナビ協調機能表示が点滅します。



ZPA0450

定速制御機能

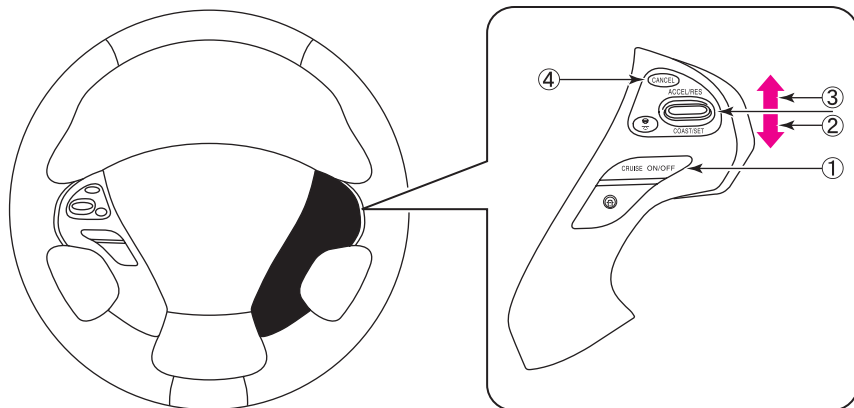
セレクトレバーが又はマニュアルモードのとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。

約40km/h～100km/hの間で任意の速度にセットできます。

注意

- 定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので定速制御機能を使わないでください。
 - ・ 交通量の多い道や急カーブのある道
交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
 - ・ 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - ・ 急な下り坂
急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ステアリングスイッチ（定速制御機能）



ZPA0451

①メインスイッチ

定速制御機能のON・OFFができます。

②セット/コーストスイッチ（下押し）

- ・定速制御機能のセットができます。
- ・設定車速を下げるができます。

③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）

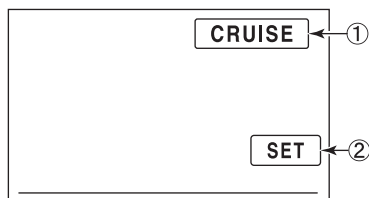
- ・定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
- ・設定車速を上げることができます。

④キャンセルスイッチ

- ・定速制御機能の解除ができます。

■表示灯・警告灯・車両情報ディスプレイ

車両情報ディスプレイはメーター内にあります。



ZPA0885

①クルーズ表示灯

メインスイッチがONになっていることをお知らせします。

②セット表示灯

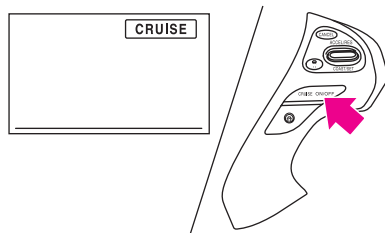
定速制御機能で走行していることをお知らせします。
(設定車速をセットすると点灯します。)

知識

- 定速制御機能に異常があると、セット表示灯が点滅します。

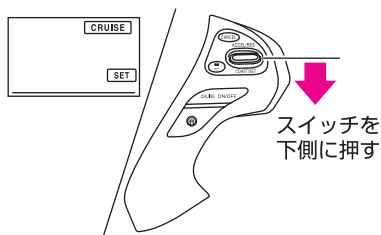
■セットのしかた

- ①メインスイッチを約1.5秒以上押し続けて定速制御機能をONにします。
(クルーズ表示灯が点灯し、セット待機状態になります。)



ZPA0453

- ②設定したい車速まで加速又は減速します。
- ③セット/コーストスイッチ側に押しします。
 - ・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
(セット表示灯が点灯)



ZPA0454

- ④制御を開始します。

⚠ 注意

- 定速制御機能を使用しないときは、メインスイッチをOFFにしてください。間違えてスイッチを押してしまった場合、定速制御機能がセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

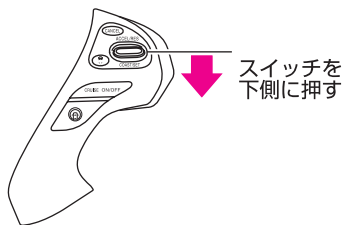
- 定速で走行中、アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを戻すとセットした速度で定速走行に戻ります。
- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）がONの場合は、メインスイッチを1.5秒以上押し続けても、定速制御機能には切り替わりません。定速制御機能を使用するときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。
- 🔍 インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）…P.222をお読み下さい。

■設定車速の換えかた

定速走行中に次の操作をします。

ペダルで変えるとき

- ① アクセルペダル又はブレーキペダルを踏み、速度を変えます。
- ② 希望の速度になったら、セット/コーストスイッチ側に押します。

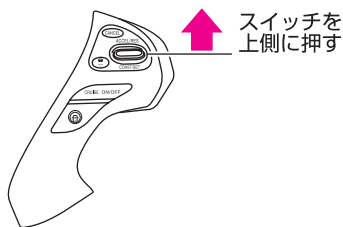


ZPA0892

ステアリングスイッチで変えるとき

設定車速を上げたいとき

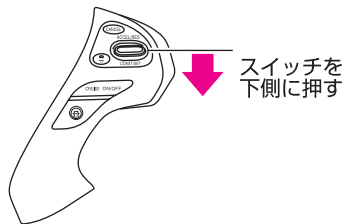
- ① リジューム/アクセラレートスイッチ側に押し続けると加速します。
- ② 希望の速度になったら、手を離します。



ZPA0433

設定車速を下げたいとき

- ①セット/コーストスイッチ側に押し続けると減速します。
- ②希望の速度になったら、手を離します。



ZPA0892

一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

- アクセルペダルを踏むと、加速します。

減速したいとき

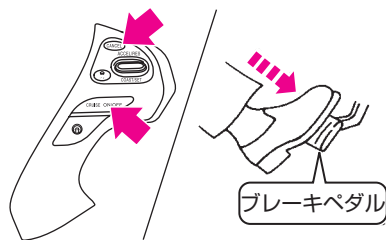
- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御を解除）します。

もう一度、定速走行に戻したいとき

解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押しします。（車速が約40～100km/hのとき戻せます。）

■解除のしかた

- 次の操作で定速制御機能が解除されます。
 - ・キャンセルスイッチを押す。
 - ・メインスイッチを押す。
 - ・ブレーキペダルを踏む。



ZPA0464

知識

- キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。
- 次の場合は定速制御機能が自動的に解除されます。
 - ・車速が約30km/h以下になったとき。
 - ・設定車速より約13km/h以上車速が低下したとき。
 - ・セレクトレバーをD⁺又はマニュアルモード以外にしたとき。
 - ・VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
 - ・タイヤが空転したとき。

知識

- 定速制御機能に異常があると、セット表示灯が点滅します。

FCW（前方車両接近警報）★

FCW（前方車両接近警報）は自車線前方にいる車両に接近したときに警報で注意を喚起するシステムです。

FCW（前方車両接近警報）は、以下の条件のとき作動します。

- ・自車の車速が約15km/h以上のとき。
- ・自車の車速が自車線前方にいる車両の車速より約15km/h以上高いとき。

⚠ 注意

- FCW（前方車両接近警報）は、衝突回避システムではありませんので、常に安全運転を心がけてください。
- FCW（前方車両接近警報）には限界がありますので、機能を過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。前方の車両との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 急な割り込み車両、歩行者や動物、道路上の落下物に対しては、システムは作動しません。
- 前方の車両との距離が極端に短い場合には、システムは作動しません。
- 次のような場合には、システムは作動しません。
 - ・前方から強い光（太陽光など）を受けたとき。
 - ・センサー窓部が汚れているとき。
- このシステムは前方の車両のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には前方の車両を正確に検出できず、システムが作動しない場合があります。
 - ・前方の車両のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき。
 - ・前方の車両の後部が著しく汚れているとき。

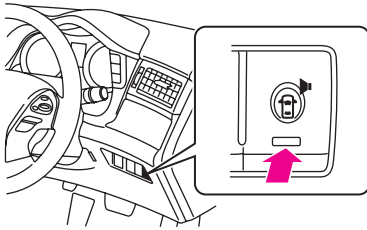
⚠ 注意

- ・悪天候（雨、霧、雪など）のとき。
- ・前方の車両や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき。
- ・前方の車両や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどいときや、走行道路周辺で煙が発生して前方が十分に見通せないとき。
- ・前方の車両がリフレクター部分にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき。
- ・後席やトランク中に極端に重い荷物を積んでいるとき。
- ・急な加減速を行っているとき。
- ・急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき。
- ・前方の車両が二輪車のとき。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口）や、自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置）、前方の車両の状況（車線内の位置）によっては、システムが作動しない場合があります。
- 前方の車両のそばの反射器（ガードレールの反射器や隣車線の車両のリフレクターなど）を検出してしまうおそれがあります。
- 自車走行線の近くに反射物や路面標識、白いレーンマーカーなど反射しやすいものがあると、システムが検出してしまうおそれがあります。
- センサーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、システムが作動しないおそれがありますので、センサー部はいつもきれいにしておいてください。
- 状況によっては外部の騒音などにより、プザー音が聞こえない場合があります。

■使いかた

- スイッチを押すごとにON/OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON/OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF



ZPA0421

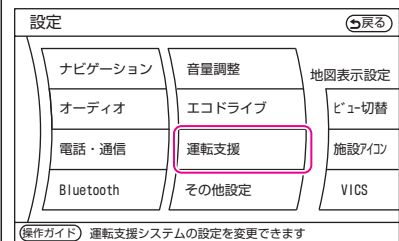
知識

- スイッチを押すとLDW（車線逸脱警報）も同時にON/OFFします。
 - 以下の操作をすると、スイッチを押したときに使用するシステムを設定することができます。
 - モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。
- ①ナビゲーションシステムの**設定**スイッチを押します。



ZPA0020

- ②**運転支援**を選択します。

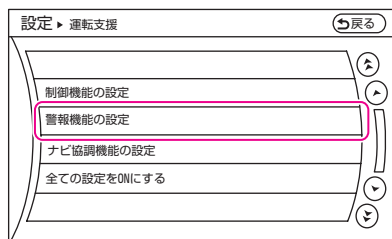


(操作ガイド) 運転支援システムの設定を変更できます

ZPA0952

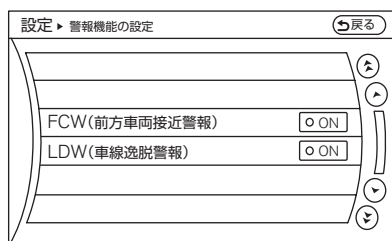
知識

③「**警報機能の設定**」を選択します。



ZPA0948

④スイッチを押したときに使用したいシステムをONに設定します。

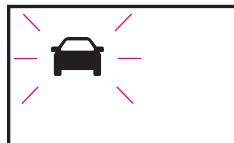


ZPA0949

- 「**FCW（前方車両接近警報）**」の**設定**がOFFになっているときは、スイッチを押してもFCW（前方車両接近警報）を**作動させることができません**。
- 「**警報機能の設定**」の中の項目がすべてOFFに設定されているときに、スイッチを押すとスイッチの表示灯が点滅し、**作動しないこと**をお知らせします。
- 「**全ての設定をONにする**」を選択すると、「**運転支援**」で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビゲーションシステムのON/OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。

■システムの作動

- 自車が前方の車両に接近するおそれがあるときに警報によって運転者に注意を促します。
（ブザーが“ピピピピ…”と鳴り、車両情報ディスプレイの先行車検出表示が点滅します。）



ZPA0362

警告表示



ZPA0334

- 次の場合は、メーター内の警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - ・ センサー部が汚れ、前方の車両との距離の測定が困難になったとき。
 - ・ FCW（前方車両接近警報）に異常があるとき。
- 前方から強い光（太陽光など）を受けた場合は、メーター内の警告灯が点灯し、一時的に作動が停止します。（状況が改善されると、自動的に作動が復帰します。）

➔ 処置

- “ピー” というブザー音とともに点灯した場合は、安全な場所に停車し、一度ハイブリッドシステムを停止してから、センサー部が汚れていないか確認してください。汚れているときは、汚れている部分を柔らかい布で清掃してから、ハイブリッドシステムを再始動してください。センサー部が汚れていないときは、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

センサー部の取り扱い

📖 P.207をお読みください。

インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）*

先行車との車間距離や相対速度に応じてブレーキを制御するとともに、アクセルペダルを踏んでいる場合には、アクセルペダルを押し戻す力を発生させることで、運転者の車間距離維持操作を支援するシステムです。

ナビ協調機能

- ナビゲーションシステムからの情報をもとに前方のカーブの大きさに応じてブレーキを制御するとともに、アクセルペダルを踏んでいる場合には、アクセルペダルを押し戻す力を発生させることで、運転者の減速操作の支援を行います。
- 詳しくは、P.234をお読みください。

インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）

一定速走行するとき、加速したいとき

- 運転者自身がアクセルペダルを踏んで走行します。

追従走行中の先行車に近づいたとき

- 運転者がアクセルペダルを戻すと、システムが滑らかにブレーキをかけて減速します。また先行車両が停止したときには、自車もそれに応じて停止します。
- 運転者がアクセルペダルを踏んだままの場合は、システムがペダルを押し戻す方向に力を発生させ、アクセルペダルを戻す操作を支援します。

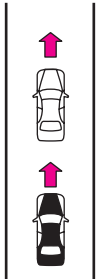
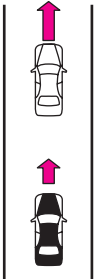
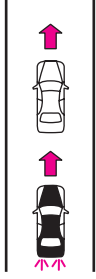
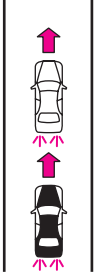
運転者によるブレーキ操作が必要だとシステムが判断したとき

- ブザーと表示で注意を促すとともに、運転者がアクセルペダルを踏んだままのときは、アクセルペダルを押し戻す力を発生させ、運転者がアクセルペダルからブレーキペダルへ踏み替える操作を支援します。

⚠ 注意

- システムにより停止までブレーキ制御を行います。停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリーブ現象によりゆっくりと車両が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作は行いません。

〈作動例〉

<p>先行車が一定速度で走行している場合</p>  <p>運転者のアクセル操作により走行します。</p> <p>ZPA0027</p>	<p>先行車が加速した場合</p>  <p>運転者のアクセル操作により加速します。</p> <p>ZPA0028</p>
<p>先行車に近づいた場合</p>  <p>運転者がアクセルを戻すと減速します。アクセルを踏んだままの場合は、ペダルを押し戻す力を発生させ、アクセルを戻す操作を支援します。</p> <p>ZPA0029</p>	<p>運転者によるブレーキ操作が必要だと判断した場合</p>  <p>ブザーと表示で注意を促すとともに、アクセルを踏んだままの場合は、ペダルを押し戻す力を発生させ、ブレーキへの踏み替え操作を支援します。</p> <p>ZPA0030</p>

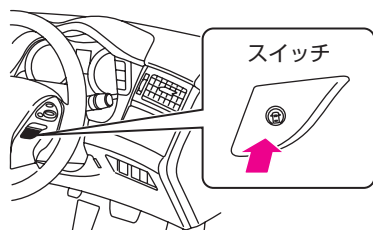
⚠ 注意

- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）には限界がありますので、機能を過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。また、追突を防止する機能はありません。
- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の減速能力には限界がありますので、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、先行車との車間距離が十分でないとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあります。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 先行車が停止した場合、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）によるブレーキ制御により停止まで制御を行います。状況（先行車との車間距離が短いときや、下り坂を走行しているときなど）により停止できないことがあります。このような場合には、停止させるためのブレーキ操作を、必ず運転者が行ってください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を使わないでください。
 - ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - ・悪天候（雨、霧、雪など）のとき
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
 - ・前方からの強い光（太陽光など）を受けたとき
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
 - ・センサー部に雨滴、雪などが付着しているとき
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
 - ・急な下り坂
先行車を検出していてブレーキ制御をしている場合、ブレーキが過熱してしまうおそれがあります。
 - ・急なカーブ、急な上り坂、下り坂が繰り返される道
先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 思わぬ事故につながるおそれがありますので、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を使用しない場合はシステムをOFFにしてください。

注意

- 停止中の車両や自車速より極端に遅い車両に対しては、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）による制御も接近警報も行いません。料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や極端に速度の遅い車両などには十分注意してください。
- 急な割り込み車両、歩行者や自転車などの車両以外のものに対しては、制御又は接近警報を行いません。
- このシステムは先行車のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には、先行車を正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - ・ 先行車のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき
 - ・ 先行車の後部が著しく汚れているとき
 - ・ 先行車や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき
 - ・ 先行車や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどい場合や、走行道路周辺で煙が発生して前方の視界が十分に見通せないとき。
 - ・ 先行車がリフレクター部にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき
 - ・ 後席やトランク内に極端に重い荷物を積んだとき
 - ・ 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 近距離ではセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、適切な作動ができない場合があります。
- センサーの汚れを自動で判定する機能を備えておりますが、万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、適切な作動ができなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、センサー部はいつもきれいにしておいてください。なお、汚れを判定した場合は、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）は自動的に作動を中止します。
- 道路形状（急な上り坂や下り坂、カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に先行車を検出できなくなったり、隣の車線の車両や周辺のものを検出して制御したり、警報が作動する場合があります。また、一時的に先行車を検出できず、適切な作動ができなくなる場合があります。

■ステアリングスイッチ （インテリジェントペダル 〔ディスタンスコントロールア シスト〕）



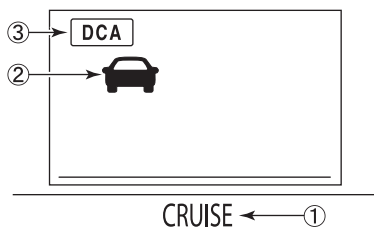
ZPA0457

スイッチ

- システムのON/OFFができます。

■表示灯・警告灯・車両情報ディ スプレイ

車両情報ディスプレイはメーター
内にあります。



ZPA0458

①インテリジェントペダル（ディス タンスコントロールアシスト）警 告灯（オレンジ）

インテリジェントペダル（ディス
タンスコントロールアシスト）に
異常があることをお知らせします。

②先行車検出表示

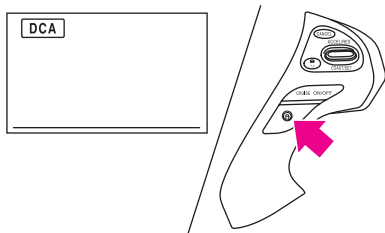
先行車検出の有無をお知らせしま
す。

③インテリジェントペダル（ディス タンスコントロールアシスト）表 示灯

インテリジェントペダル（ディス
タンスコントロールアシスト）が
ONになっていることをお知らせし
ます。

■使いかた

- ①スイッチを押してシステムをONにします。
(表示灯が点灯します。)



ZPA0459

- ②車速が約5km/h以上になると、制御を開始します。

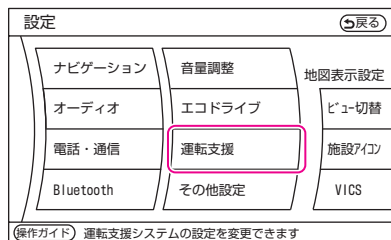
知識

- ステアリングにあるスイッチを押すと、インテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) とLDP (車線逸脱防止支援システム) のON/OFFを同時に切り替えることができます。
 - 以下の操作をすると、ステアリングにあるスイッチを押したときに使用するシステムを設定することができます。
 - モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。
- ①ナビゲーションシステムの「設定」スイッチを押します。



ZPA0020

- ②「運転支援」を選択します。

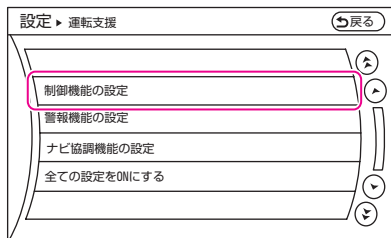


(操作ガイド) 運転支援システムの設定を変更できます

ZPA0952

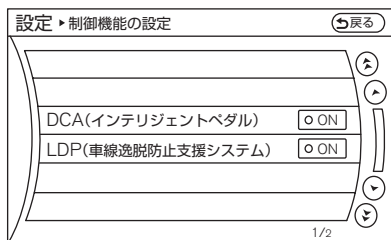
 知識

③「**制御機能の設定**」を選択します。



ZPA0947

④ステアリングにあるスイッチを押したときに使用したいシステムをONに設定します。



ZPA0504

- 「**DCA (インテリジェントペダル)**」の設定がOFFになっているときに、ステアリングにあるスイッチを押してもインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を作動させることができません。
- 「**制御機能の設定**」の中の項目がすべてOFFに設定されている場合に、ステアリングにあるスイッチを押すとメーター内のインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）表示灯とLDP（車線逸脱防止支援システム）表示灯が点滅し、作動しないことをお知らせします。
- 「**全ての設定をONにする**」を選択すると、「**運転支援**」で設定できるすべての機能がONになります。

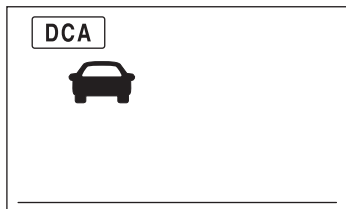
 知識

- ナビゲーションシステムのON/OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても、再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。
- ハイブリッドシステムを停止するとインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）は自動的にOFFになります。

■システムの作動

先行車を検出したとき

- 先行車検出表示が点灯します。



ZPA0460

先行車に近づいたとき

- アクセルペダルを戻すと、インテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) がブレーキをかけ減速します。先行車が停止した場合は、停止まで制御を行います。
- 運転者がアクセルペダルを踏んだままの場合は、インテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) がペダルを押し戻し、アクセルペダルを戻す操作を支援します。

⚠ 注意

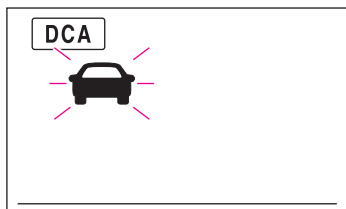
- 先行車検出表示が点灯していないときは、インテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) による制御も警報も行いません。
- アクセルペダルの踏み方や踏み込み量により、アクセルペダルを押し戻す力が十分に発生できない場合があります。
- インテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) の制御により自車が停止したときは、“ピー” というブザー音とともにシステムは自動的に作動を中止します。(車速が再び約5km/hを上回ると、自動的に作動が復帰します。)
- 停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したときは、ブレーキを踏んで車両を停止させてください。また、状況によっては停止できない場合があります。必要に応じてブレーキを踏み、車両を停止させてください。

📖 知識

- インテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) の制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

運転者によるブレーキ操作が必要だとシステムが判断したとき

- ブザー音と車両情報ディスプレイの表示とともに、アクセルペダルを押し戻す力を発生させ、アクセルペダルからブレーキペダルへの踏み替え操作を支援します。
 - ・ ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
 - ・ 車両情報ディスプレイの先行車検出表示が点滅します。



ZPA0461

■運転者操作時の作動

- 次の場合は運転者の操作を優先します。
 - ・ アクセルペダルを踏み増したとき。
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいるとき。

⚠ 注意

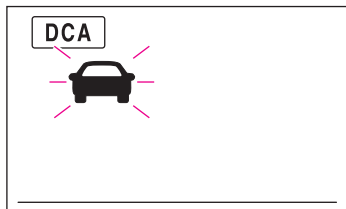
- アクセルペダルを押し戻す力が発生（ペダル制御）しているときに、運転者がアクセルペダルを踏み増すと、ペダル制御を中止します。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の制御によるブレーキ操作は行いません。
- ブレーキペダルを踏んでいるときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の制御によるブレーキ操作も警報も行いません。（先行車検出表示が消灯します。）
- インテリジェントクルーズコントロールをセットしたときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の作動が中止されます。

■接近警報

先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーと車両情報ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

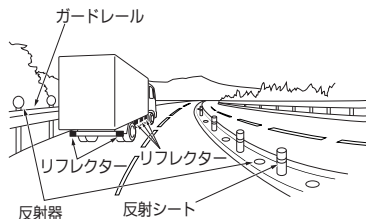
- ・ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
- ・車両情報ディスプレイの先行車検出表示が点滅します。



ZPA0461

注意

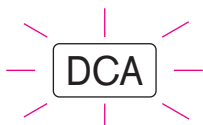
- 警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、システムを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には警報が作動しないことがあります。
 - ・ 先行車との相対速度が小さいとき。（ほぼ同じ速度で走っているとき）
 - ・ 先行車のほうが自車より早いとき。（車間距離が次第に離れているとき）
 - ・ 他車が至近距離に割り込んできたとき。
- 料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両に対しては警報が作動しません。
- 道路形状（カーブ路、カーブの入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や、自車及び周辺車両の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に隣車線の車両のリフレクターや、道路脇に設置されている反射器、反射シート、ガードレールの反射器などを検出して接近警報が作動する場合があります。



ESD0984Z

■警告表示

- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともにインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）表示灯が点滅し、自動的に作動が停止します。
 - ・ ドライブモードをSNOWにしたとき
 - ・ ABS又はVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
 - ・ VDCをOFFにしたとき
 - ・ 前方から強い光（太陽光など）を受けたとき



ZPA0398

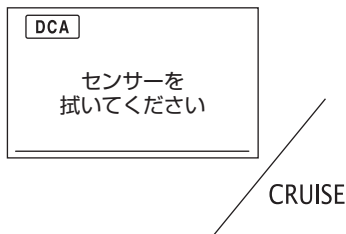
➡ 処置

- インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、再びシステムをONにしてください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

- 次の場合は“ピー”というブザー音とともに車両情報ディスプレイに「センサーを拭いてください」と表示され、警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - ・ センサー部が汚れ、車間距離の測定が困難になったとき



ZPA0463

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度ハイブリッドシステムを停止してから、汚れている部位を柔らかい布で清掃し、再びインテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）をONにしてください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

- 次の場合は“ピー”というブザー音とともに警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - ・ インテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) に異常があるとき

CRUISE

ESA1445Z

➡ 処置

- 点灯したときは、安全な場所に停車して一度ハイブリッドシステムを停止してから、再びインテリジェントペダル (ディスタンスコントロールアシスト) をONにしてください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしてもONにできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■ センサー部の取り扱い

- 🔍 インテリジェントクルーズコントロールのセンサー部の取り扱い… P.207をお読みください。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行する前に

室内装備の
使いかたつ車とあ
の上手な
いかな

万のとき

サービス
データ

さくいん

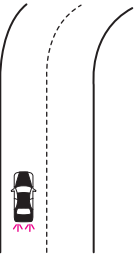
ナビ協調機能

- ナビゲーションシステムからの情報をもとに前方のカーブの大きさに応じてブレーキを制御するとともに、アクセルペダルを踏んでいる場合には、アクセルペダルを押し戻す力を発生させることで、運転者の減速操作の支援を行う機能です。

作動条件

- ナビ協調機能は、以下の条件が満たされている場合に作動します。
 - ・インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）を使用しているとき。
（先行車を検出していないとき）
 - ・ナビ協調機能がONのとき。（○P.234）

〈作動例〉

走行状況	カーブ路に近づいた場合	
例		<p>カーブに近づいた場合は、運転者がアクセルを戻すと、カーブの大きさに応じて滑らかにブレーキをかけ減速します。</p> <p>運転者がアクセルを踏んだままの場合には、アクセルペダルを押し戻す力を発生させ、運転者がアクセルペダルを戻す操作を支援します。</p> <p>ZPA0018</p>

⚠ 注意

- ナビ協調機能は、前方のカーブの大きさに応じて、システムの減速能力の範囲内で減速するものであり、カーブを自動的に走行したり、法定速度を遵守した走行を支援するものではありません。
法定速度を守り、安全にカーブを走行するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作は行いません。

 **注意**

- ナビ協調機能には限界があります。また、状況により作動しない場合がありますので、ナビ協調機能を過信しないでください。
脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。
周囲の状況に十分注意し、安全運転に心がけてください。
- ナビ協調機能の減速能力には限界があります。十分に減速できないとシステムが判断した場合は、ブザー及び表示による警報で注意を促します。
- この機能はナビゲーションシステムからのカーブ情報を利用してするため、ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えない状況や、ナビゲーションシステムの地図に無い道路を走行しているとき、車線規制や工事などで、ナビゲーションシステムの地図情報と実際の道路形状が異なっているとき（詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書「知っておいていただきたいこと」をお読みください）、分岐路等前方に複数の道路がある場合には制御や警報のタイミングがずれたり、適切に制御や警報を行えない場合があります。周囲の状況に十分注意し、必要に応じてブレーキまたはアクセル操作を行って走行してください。
- カーブ走行路での運転支援を目的としているので、それ以外の道路（カーブと認識されないT字路や交差点）では作動しません。
- 道路形状（急な上り坂や下り坂のカーブ路など）によっては、制御や警報のタイミングがずれたり、適切に制御や警報を行えない場合があります。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、システムを使わないでください。
 - ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - ・急な下り坂でカーブが連続する道カーブを検出していてブレーキ制御をしている場合、ブレーキが加熱してしまうおそれがあります。
- 道路から自転車マークが外れた状態から、道路上に戻ってきたあとしばらくの間は制御が作動しない場合があります。
 - ・駐車場を出たあと
 - ・SA（サービスエリア）、PA（パーキングエリア）を出たあと
 - ・地図にない道路を走行したあと

■ ナビ協調機能のON・OFF設定

○モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

※車種により、画面表示が一部異なります。

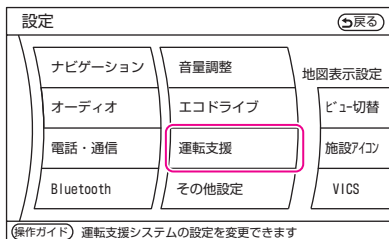
ON/OFFのしかた

① **設定** スイッチを押します。



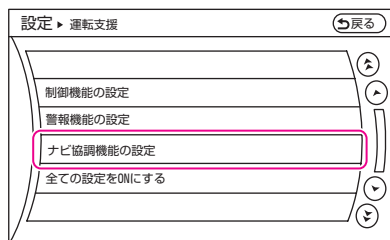
ZPA0020

② **運転支援** を選択します。



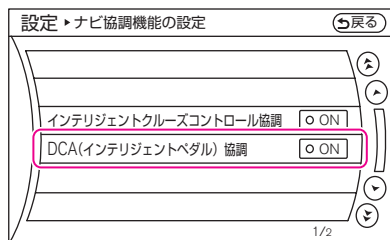
ZPA0952

③ **ナビ協調機能の設定** を選択します。



ZPA0950

④ **DCA（インテリジェントペダル）協調** を選択し、ON/OFFを選択します。



ZPA0505

⚠ 注意

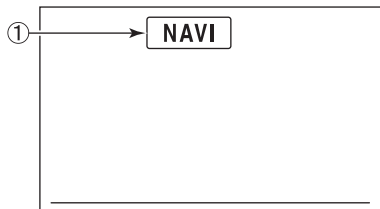
- ナビ協調機能を使用しないときは、設定をOFFにしてください。
- 設定をOFFにした場合、ナビ協調機能による制御も警報も行いません。ナビ協調機能を作動させたいときは、設定をONに戻してください。

📖 知識

- **全ての設定をONにする** を選択すると、**運転支援** で設定できるすべての機能がONになります。
- ナビ協調機能のON/OFF設定は、ハイブリッドシステムを停止しても、再度設定を変更するまで、その状態が維持されます。

■車両情報ディスプレイ

車両情報ディスプレイはメーター内にあります。



ZPA0447

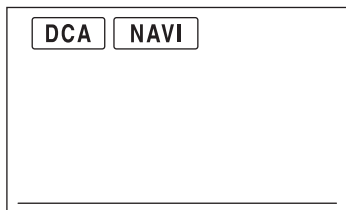
①ナビ協調機能表示

制御対象となるカーブを検出している場合、点灯します。

■ナビ協調機能の作動

制御対象となるカーブを検出したとき

- ナビ協調機能表示が点灯します。



ZPA0466

制御対象となるカーブに近づいたとき

- アクセルペダルを戻すと、システムがブレーキをかけて減速します。
- 運転者がアクセルペダルを踏んだままの場合は、システムがペダルを押し戻し、アクセルペダルを戻す操作を支援します。

知識

- 自車の推定進路は以下のように判定します。

ルートガイドを行っている場合

- ・ナビゲーションシステムのルートを進路と推定します。

ルートガイドを行っていない場合

- ・ナビゲーションシステムの自車マーク前方道路を進路と推定します。

また、分岐路の場合は以下のように進路方向の推定を行います。

- ・道路種別による進路方向の推定
例：国道と県道での分岐路の場合は、国道を進路方向として推定します。
- ・道路種別が同様の場合は、みちなりの道路を進路方向として推定します。

■運転者操作時の作動

- 次の場合は運転者の操作を優先します。
 - ・ アクセルペダルを踏み増したとき。
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいるとき。

⚠ 注意

- アクセルペダルを押し戻す力が発生（ペダル制御）しているときに、運転者がアクセルペダルを踏み増すと、ペダル制御を中止します。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作は行いません。
- ブレーキペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作も警報も行いません。（ナビ協調機能表示が消灯します。）
- インテリジェントクルーズコントロールをセットしたときは、インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）の作動が中止されるため、ナビ協調機能の作動も中止します。
- ナビ協調機能表示が点灯していないときは、システムによる制御も警報も行いません。
- ナビ協調機能作動中に先行車を検出した場合は、先行車に対する車間制御を優先するため、ナビ協調機能は作動しません。（ナビ協調機能表示が消灯します。）機能によって制御内容が異なりますので、作動中の機能を車両情報ディスプレイの表示で必ず確認してください。

📖 知識

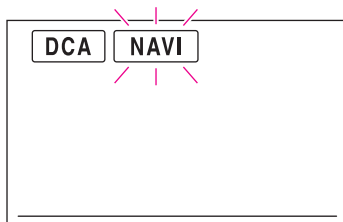
- ナビ協調機能の制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。

■警報及び警告表示

- ナビ協調機能により十分に減速できないとシステムが判断した場合は、次のようにブザーと車両情報ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車速で走行してください。

- ・ ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
- ・ 車両情報ディスプレイのナビ協調機能表示が点滅します。



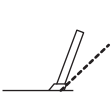

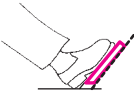
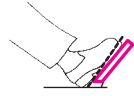
ZPA0467

ECOペダル★

アクセルペダル操作に応じてアクセルペダルの踏力を少し重くすることで、エコドライブをサポートするシステムです。

- ドライブモードセクター（**OP.168**）でドライブモードをECOにして走行中に、ECOペダルが作動します。
- ECOドライブインジケータ（**OP.171**）と連動して作動します。

〈作動例〉

アクセルペダル踏み込み状態	なし <停車時>	エコ運転領域内	エコ運転領域を超えそうなとき	エコ運転領域を超えたとき
ECOドライブインジケータ表示	<消灯>	ECO (緑色点灯)	ECO (緑色点滅)	ECO (オレンジ色点灯)
ECOペダルの作動				

ZPA0468

知識

- 次の場合にはECOペダルは作動しません。
 - ・ セレクトレバーが**N**又は**R**のとき
 - ・ インテリジェントクルーズコントロールが作動しているとき
- ECOペダルの反力はアクセルペダル操作を妨げるものではありません。加速が必要な場合は通常通り加速することができます。
- ECOペダル反力発生中にドライブモードセクターをECOモードから他のモードに切り替えた場合は、一旦、アクセルペダルから足を離すまでECOペダル反力を保持します。
- すばやくアクセルペダルを踏み込んだ場合は、ECOペダル反力は発生しません。
- 故障が原因でECOペダル反力を発生できない場合は、ECOペダル制御が中止されますが、通常のアクセルペダルとして走行することができます。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

目次

警告

走行する前に

走行するだけ

室内装備の

車とあの手な

万のとき

サービスデータ

さくいん

■ECOペダル反力調整機能

ECOペダル反力の強さを調整することができます。

① モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

※車種により、画面表示が一部異なります。

知識

- ECOペダルの反力設定はハイブリッドシステムを停止しても、再度設定を変更するまで維持されます。

設定変更のしかた

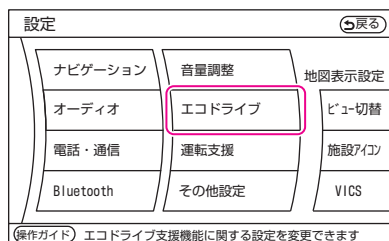
① モニターの項目の選択方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書「基本的な操作のしかた」をお読みください。

- ① ナビゲーションシステムの **設定** スイッチを押します。



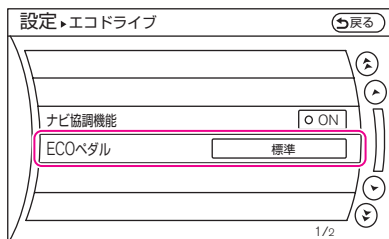
ZPA0020

- ② **エコドライブ** を選択します。



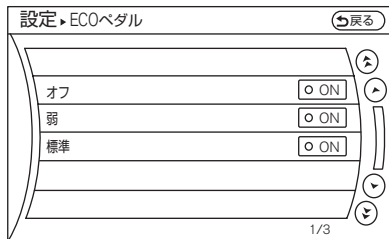
ZPA0953

- ③ **ECOペダル** を選択します。



ZPA0470

- ④ 設定したい項目を選びます。



ZPA0471

知識

- オフ設定を選択した場合は、ECOペダル制御を停止し、通常のアクセルペダルとして使用できます。

ブレーキアシスト（プレビュー機能付）★

ブレーキアシスト

ブレーキアシストは、ブレーキペダルを踏む力が一定以上の強さを超えると、より大きな制動力を発生することにより、運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

アドバイス

- ブレーキアシストはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助する装置です。ブレーキアシストの付いていない車と同様に、スピードを控えめに、早め早めのブレーキで安全運転をしてください。

プレビュー機能

プレビュー機能は、車両前部に取り付けたセンサーで、自車線前方の車両との距離や相対速度を測定し、緊急制動が必要と判断した場合には運転者がブレーキペダルを踏む前に自動的にブレーキに予圧をかけ、運転者がブレーキを操作したときの応答性を向上させるシステムです。

- 車速32km/h以下では作動しません。
- 次の場合は、自動的にシステムが解除します。
 - ・ 運転者がブレーキペダル又はアクセルペダルを踏んだとき。
 - ・ システムが緊急制動を必要と判断したが、運転者がブレーキペダル又はアクセルペダルを踏まなかったとき。（約1秒後に解除します。）

目次

 警告

走行する前に

走行する上

室内装備の
使いかたつきあの上
手な万
一
の
と
きサー
ビス
テ
ー
タさ
く
い
ん

 **注意**

- プレビュー機能は、自動的に車両を減速させるシステムではありません。プレビュー機能の付いていない車と同様に、運転者のブレーキ操作が必要です。早め早めのブレーキで安全運転をしてください。
- プレビュー機能には限界がありますので、システムを過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意を補助するものではありません。プレビュー機能の付いていない車と同様に、運転者は周囲の状況に注意し、安全運転をしてください。
- 次のような場合は、システムが正しく機能しない場合がありますが、プレビュー機能のない普通のブレーキとして使えます。（ブレーキアシストは働きます。）
 - ・ センサー部が汚れていたり、雨滴、雪などが付着した場合、また前方から強い光（太陽光など）を受けたときは前方の車両を検出できない場合があります。
 - ・ 道路形状（カーブなど）や自車の状況（ステアリング操作や車線内の位置など）によって、前方の車両を検出できなかつたり、隣の車線の車両や周囲のものを検出して作動するとき。

■センサー部の取り扱い



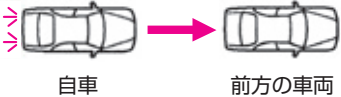
●P.207をお読みください。

インテリジェントブレーキアシスト*

レーダーセンサーにより自車線前方の車両との距離を測定し、ほぼ真後ろから自車線前方の車両に追突するおそれのあるとき、運転者による緊急の回避操作が直ちに必要だと判断した場合は警報を鳴らし、運転者の操作により追突が避けられないと判断した場合はブレーキをかけて減速し追突時の被害を軽減します。

インテリジェントブレーキアシストは、以下の条件のとき作動します。

- ・電源ポジションがONのとき。
- ・自車の车速が約15km/h以上のとき。
- ・自車の车速が自車線前方の車両の车速より約15km/h以上高いとき。

		例
1	レーダーセンサーにより、自車線前方の車両を検出します。	 <p>自車(100km/h) 前方の車両(80km/h)</p> <p style="text-align: right;">ZPA0399</p>
2	追突を避けるため、緊急の回避操作が直ちに必要だと判断した場合、警報を鳴らし運転者の操作を促します。	<p>ブザー音 “ピピピピ・・・”</p>  <p>自車 前方の車両</p> <p style="text-align: right;">ZPA0400</p>
3	運転者の操作により追突が避けられないと判断した場合、ブレーキをかけて減速し、追突時の被害を軽減します。	<p>ブレーキ制御作動 (制動灯が点灯します)</p>  <p>自車 前方の車両</p> <p style="text-align: right;">ZPA0402</p>

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

目次

警告

走行する前に

走行するだけ

室内装備の
使いかたつきあの上
が手な

万のとき

サービス
データ

さくいん

⚠ 注意

- インテリジェントブレーキアシストは追突を自動的に回避するシステムではありません。常に安全運転を心がけてください。
- システムの制御によりブレーキ操作を行います。自動的に車両を停止させるシステムではありません。
- 二輪車に対してシステムは作動しません。
- 急な割り込み車両、歩行者や動物、道路上の落下物に対しては、システムは作動しません。
- 前方の車両との距離が極端に短い場合には、システムは作動しません。
- 次のような場合には、システムは作動しません。
 - ・ 前方から強い光（太陽光など）を受けるとき。
 - ・ センサー窓部が汚れているとき。
- このシステムは前方の車両のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には前方の車両を正確に検出できず、システムが作動しない場合があります。
 - ・ 前方の車両のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき。
 - ・ 前方の車両の後部が著しく汚れているとき。
 - ・ 悪天候（雨、霧、雪など）のとき。
 - ・ 前方の車両や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき。
 - ・ 前方の車両や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどいときや、走行道路周辺で煙が発生して前方が十分に見通せないとき。
 - ・ 前方の車両が、リフレクター部分にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき。
- 後席やトランク中に極端に重い荷物を積んでいるとき。
- 急な加減速を行っているとき。
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口）や自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置）、前方の車両の状況（車線内の位置）によっては、システムが作動しない場合があります。
- 前方の車両のそばの反射器（ガードレールの反射器や隣車線の車両のリフレクターなど）を検出してしまうおそれがあります。
- 自車走行線の近くに反射物や路面標識、白いレーンマーカーなど反射しやすいものがあると、システムが検出してしまうおそれがあります。
- センサーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、システムが作動しない場合がありますので、センサー部はいつもきれいにしておいてください。
- 状況によっては外部の騒音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

警告表示

インテリジェントブレーキアシスト警告灯はメーター内にあります。



ZPA0472

- 次の場合は、システムが作動しなくなります。

“ピー”というブザー音とともにインテリジェントブレーキアシスト警告灯が点灯し、お知らせします。

- ・ センサー部が汚れ、前方の車両との距離の測定が困難になったとき。
- ・ インテリジェントブレーキアシストに異常があるとき。

➔ 処置

- “ピー”というブザー音とともに点灯した場合は、安全な場所に停車し、一度ハイブリッドシステムを停止してから、センサー部が汚れていないか確認してください。
汚れているときは、汚れている部分を柔らかい布で清掃してから、ハイブリッドシステムを再始動してください。
センサー部が汚れていないときは、再度ハイブリッドシステムを始動してください。

🚗 アドバイス

- 上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

- 次の場合は、システムが一時的に作動しなくなります。

インテリジェントブレーキアシスト警告灯が点灯し、お知らせします。(ブザー音は鳴りません。)

- ・ 前方から強い光（太陽光など）を受けたとき。

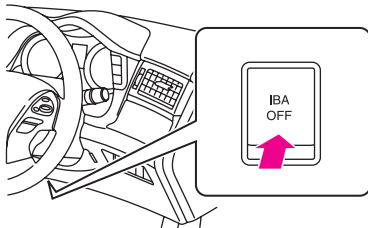
📖 知識

- 一時的に作動しない状態から復帰すると、インテリジェントブレーキアシスト警告灯は消灯します。

■インテリジェントブレーキアシストOFFスイッチの使いかた

インテリジェントブレーキアシストの作動をやめたいときに使います。

- ハイブリッドシステム始動後、スイッチを1秒以上押すと、インテリジェントブレーキアシストの機能を停止します。(メーター内の表示灯が点灯)
- もう一度1秒以上スイッチを押すとインテリジェントブレーキアシストは再び作動し、表示が消灯します。



ZPA0473

知識

- ハイブリッドシステム停止後もインテリジェントブレーキアシストのON/OFF状態は最後に操作した状態で記録されません。

■センサー部の取り扱い

○P.207をお読みください。

ABS

■ABSとは

急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくしたシステムです。

■ABS付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- ①危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。



TSC0679Z

- ②ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- ③障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

⚠ 警告

- ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、コーナーの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなる場合があります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
- ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- 電源ポジションをONにしたときや、ハイブリッドシステム始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるために、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約10km/h以下では作動しません。

